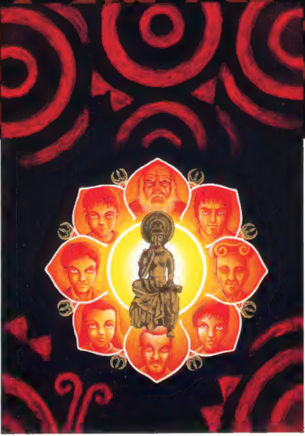
暗黒神話

諸星大二郎





暗黒神話 目次

COVER DESIGN:
川島健三(水野プロ)



暗黒神話

あんこくしんわ

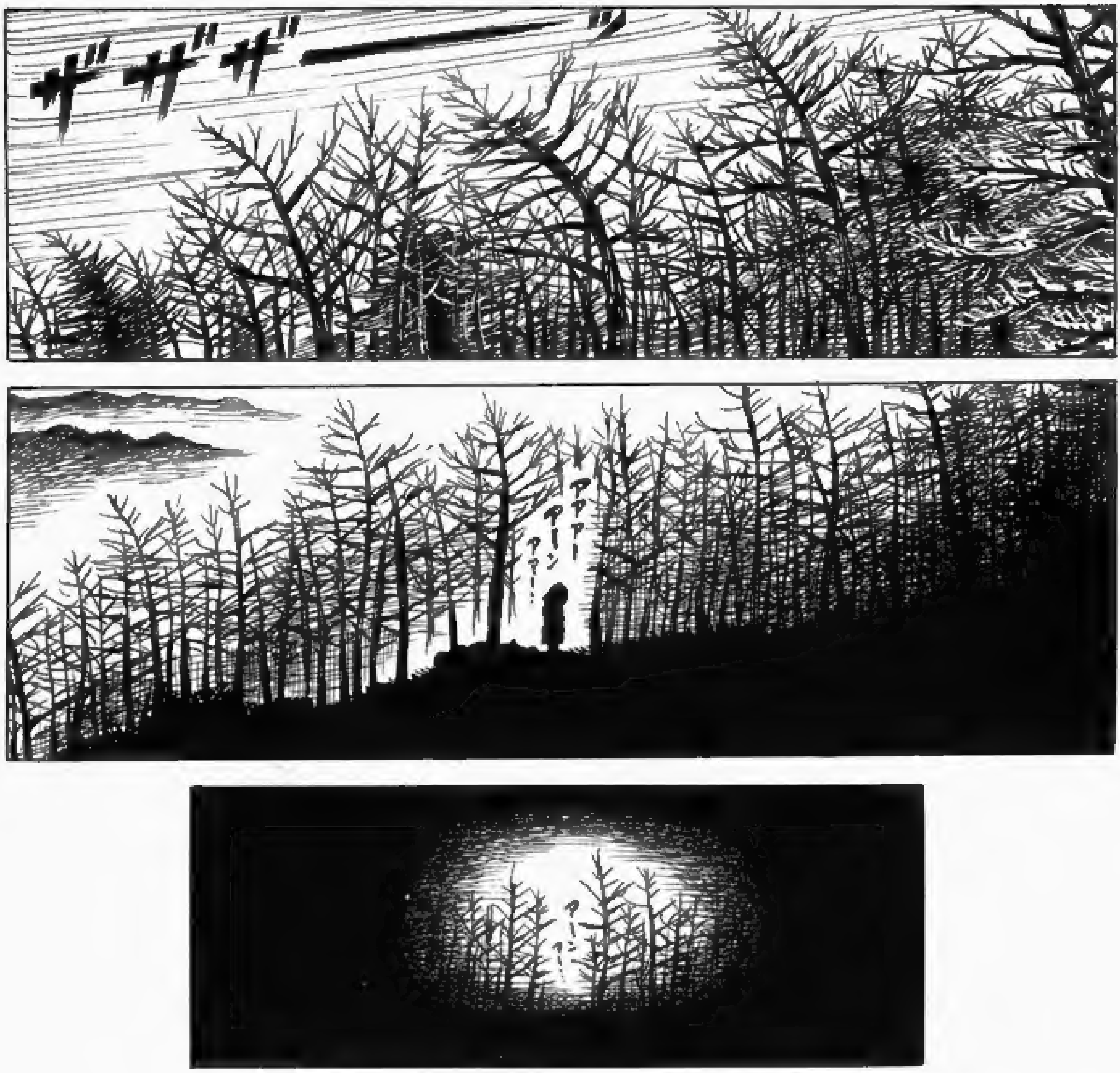



目次
畜生の章　五
阿修羅の章　三十六
餓鬼の章　七十
地獄の章　百三
人間の章　百三十四
天の章　百六十七

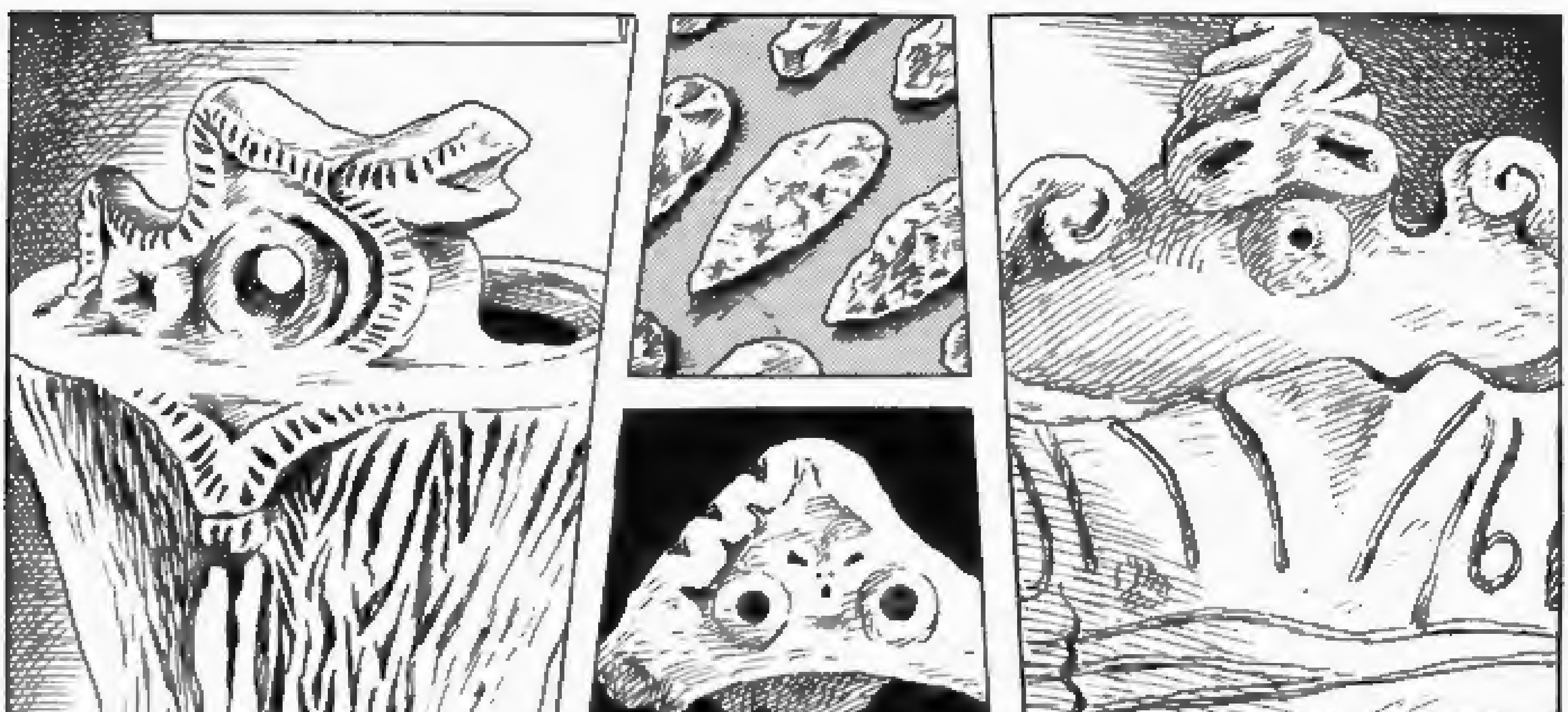
畜生の章




——長野県蓼科山——
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
アーン
アァ…
アーン
アァ…!
アーン
アア…
アーン
ザク
ザク
ザク



——10年後　長野県茅野市尖石考古館　冬………




縄文が すきなようじゃね?
え………
はは… いや なに このあたりで なん度か きみを みかけたことが あるもんでね 東京から きたのかね?
ええ… 武蔵野です
わしは 竹内といって 自称 歴史学者じゃよ 諏訪へは よく くるのかね?
た ただ…なんとなく きたくなって…… ひきつけられるようで…… いえ その… 縄文土器に…
フム… わしもじゃよ この土器を みてごらん
蛇のもようの とってが ついとるじゃろ… それから この地方には 蛇の伝説も 多く 残っとるし…


この尖石遺跡を中心にした諏訪盆地は紀元前五 六千年頃の縄文時代からかなり大きな集落があった所でな……
連中は蛇を とくに神聖視してあがめまつっておったらしい
その子孫は体に ウロコがあったり蛇の神紋を さずかるなどという言い伝えもあるが…
蛇…… 神紋……
ど…どうしたんじゃね気分が悪いのか!?
いえ…なんでもないですちょっとめまいが………
そうかね… いや どうもつまらん話をきかせてしまったようじゃの…
なにかの参考になればと思ったんじゃよ… じゃあな 武くん…
えっ…名前を…?


——東京 武蔵野——
みたか〜〜〜 みたか〜〜〜
ただい……
帰ってください！
残念ですな 奥さん じゃ また 日を あらためて……
ただいま かあさん……
まあ おそかったのね なん時だと 思ってるの
かわいい子には 旅を させろだよ それより おなか へった……


日帰りで あんな遠くへ いっても つまらない でしょ もう 諏訪へ いくのは おやめなさい
遠くないよ 急行で 三時間 だもの…
いまの人 だれ?
なんでもないわ 気分の悪い…
諏訪で 竹内さん ていう 変な じいさんに あったよ
ガチャン
どう したの?
べつに… 手が すべった のよ…
とにかく もう 諏訪へは いかないで… いくんなら ほかにしなさい
しっけい きみ… 武くんだね?
え…? あ きのうの人…
わたしは 小泉小太郎といって きみのおとうさんとは 古い友だちなんだがね ……
とうさん? とうさんは ぼくが 子どものころ 死にました けど…十年も前に…


そう そのことさ きみのおとうさんは 殺されたんだよ 知ってたかね?
やっぱり 知らされて いないか… 十年前 蓼科の林の 中でね…
刺殺体で 発見された んだ とうとう 迷宮入り だったがね…
でも… どうして 今ごろ そんな ことを…
ん…いや 当時は わたしも 確信は なかったん だが…
ふたりして あらためて そのへんをさぐって みようじゃないか わたしも 友人 として スッキリ しなくてね…
え ええ… でも…
最近 ふと したことから ある情報を つかんでね… どうだね…
そうそう おとうさんは 諏訪で なにか調査を していたらしいね…
おとうさんの 遺品が きっと てがかりになると 思うんだが…?
それから おかあさんには ないしょにした ほうが いいね 古傷に さわる ようだから…


ザザァァァ
そういえば かすかに記憶が ……泣いている ぼくの前に 男の人が たおれていて……
背中から 血が ながれていた…… あの死体が とうさんだったのか……
ぼくの肩からも 血が でていた ……そして……
そばに もうひとり だれか…… たしかに だれか いた ような…
ザワ
ザワ
ザワ
そういえば 子どものころから 肩に 傷あとが あった
自転車に ぶつけられたんだ なんて……
蛇の頭みたいな 傷あと…… その時のもの なんだろうか
この……


冬休みになって 武は 再び 諏訪を訪れた
駅前ショッピングセンター
ちの CHINO
まってたよ で…どうだね? おとうさんの遺品に なにか手がかりはあったかね?
それが…
遺品といえるものは この古い本一冊だけなんですけど…
どれ…
信濃秘志
室井恭蘭の「信濃秘志」… ほう 江戸時代の珍本だ これは…
だれですか 室井恭蘭って…?
伝説の収集で知られた国学者だ 狂死したといわれるが
パラパラ
パテッ
ここに 紙がはさんである…
三つの顔に八匹の蛇… なんの絵でしょう?
それは ただのシオリがわりで たいした意味はないのかもしれん それより 問題はこのページだ
「甲賀三郎諏訪の秘宝が事」という章だ…



「神道集」によると 近江甲賀郡の領主 甲賀三郎諏訪は 天狗にさらわれた 春日姫をさがして 信濃(長野県)の 蓼科山の人穴(洞窟)に まよいこみ……
十なん年も 地底の国ぐにを 遍歴したのち 蛇体となって 地上にもどり その後 人間の 姿にもどって 諏訪の神に まつられたと ある……
思ったとおりだ!
なにがかいてあったんですか? とうさんの死に関係が?
ふふ… まあ だまって わたしに まかせておけ
いや やっぱり 話しておいて やるか… 恭蘭の説明だと「神道集」より もっと ずっと古い伝説が あって それによると 甲賀三郎が 地底で みつけたのは ばく大な財宝だった
だが 三郎は 財宝を 外に もちだせずに 死んでしまい 地底で 蛇となって 宝の番を したそうだ……


そのためか この山は 今でこそ 観光地だが 昔は 霊山として 信仰されたそうだ
じゃあ とうさんは その甲賀三郎の 財宝を さがして いて……？
そうだ 犯人は 横どり しようと したんだな きっと……
登山道を はずれるぞ
ここが おとうさんの 死んだ 所だよ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ



ここが　あの時の…
でも　子どもを
つれて
宝さがしなんか
するもん
だろうか…
あれは　だれだったんだろう…男か女か
…老人か　若かった
かも　わからない…
この　小泉という
男だって　あやしい…
親切そうに　みせてるけど
まてよ！
とうさんは　たしか
この斜面に
崖のほうを
むいて
うつぶせに
たおれていた…
つまり
……
この上の
ほうから
あるいて
きて……
おい…？


なにを まよっとる そこで いいんじゃよ
あっ
あ あんたか……
このふたり知りあい……?
先まわりか じいさん 「信濃秘志」は たしかにあった こんどは なんだね?
甲賀三郎の人穴へ案内してやろうと思っての…
なに!?
その一番はじの石仏をたおしてみるがいい みかけほど重い物ではない
…………
おい 手伝え
ゴロン


うまくかくしたものじゃ
昔なら仏に手をだす者はおらんじゃろうからな
中はあんがい広いぞ…
だが…じいさんわからんな
ここまで知ってて
なんでわざわざ…
そうか
手伝いがいるわけだな
で…どうなんだ
山分けかね?
ふふ……
このじいさんもあやしい…
ぼくのことを前から知ってたんだ…
そういそぎなさんな
ころんでケガをするぞ
パリ…
!?

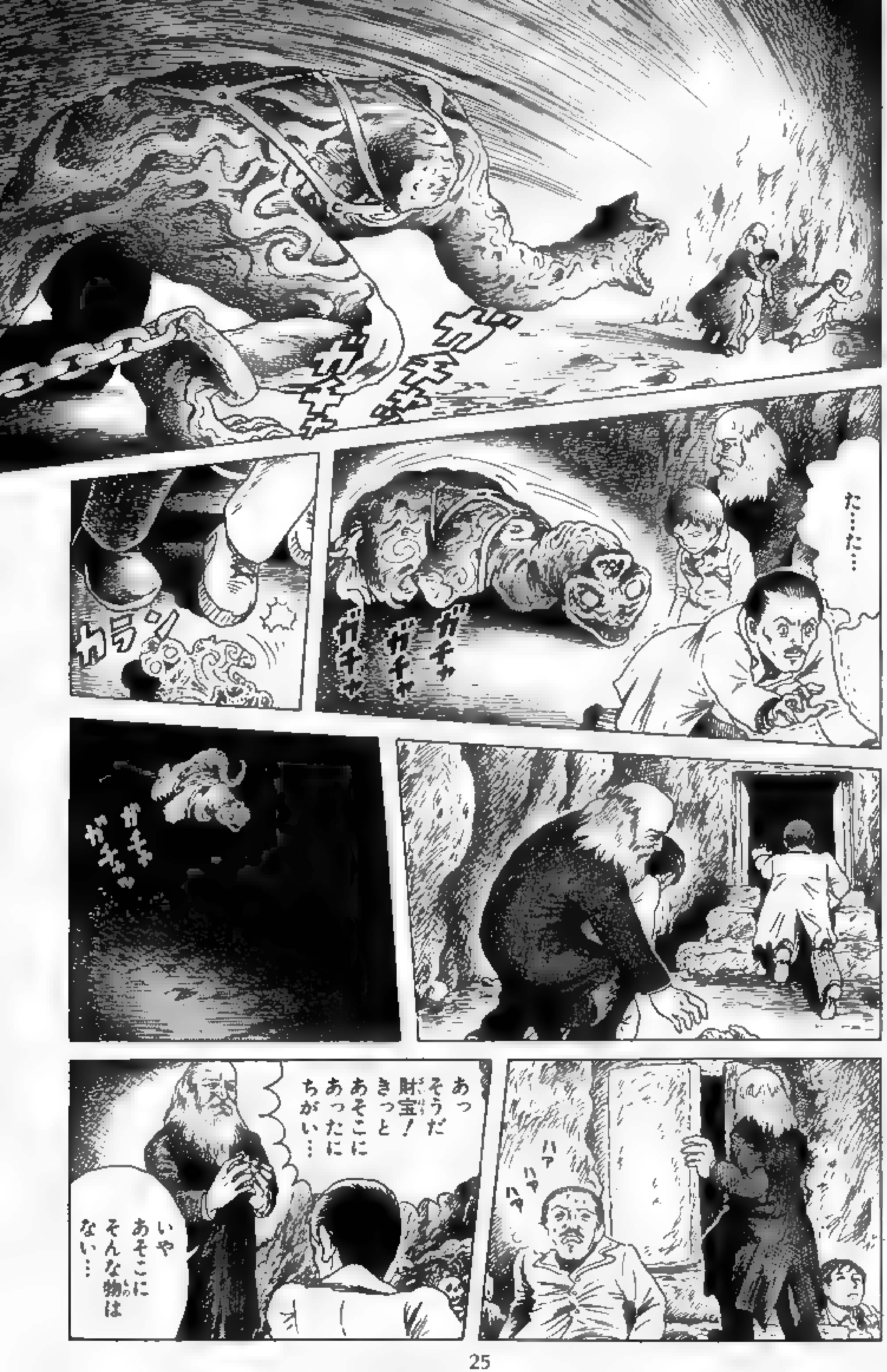

な なんだ これは…
こわいのかね? ただの白骨じゃよ かみつきゃせんよ
だ…だれがこわいものか…
ふっふ 単純な男よのう
これが…甲賀三郎の人穴…?
そうじゃ「神道集」によると三郎は維縵国という大きな地底国にたどりついたということじゃ


甲賀三郎のことは中世ごろの話だがこの穴自体はずっと古くから人がすんでいたろう…ほれ！
縄文時代の土器じゃ紀元前五千年をくだるまいな
穴もずっと広くて浅間山の風穴ともつながっていたかもしれん
みてみい埋葬のあとがないこれだけの白骨が…
なにかの原因で同時に全員がここで死んだとしか思えん…
な なぜ…
なにかがおこったのじゃ戦争かも…疾病かもしれん…
くそっ
骨！骨！骨ばかりじゃないか！どこに財宝があるんだ！
じいさんだましたんじゃあるまいなそれとももうだれかがもちだしちまったのか!?
まあみろ


ほかの骨より ずっと 新しい…もち物から みても 甲賀三郎の なれのはて じゃろう
あ……頭 みて…
牙の あとじゃ ない？ これ……
あるいはな …聖域に ふみいった むくい かも…
そんなことは どうだって いいんだ！
わしは ここに 財宝が あるなんて いったおぼえ は ないよ
な…！
まあ まて かならずしも ないとも かぎるまい
てがかりが あるはず じゃ まあ じっくり しらべる こと じゃな
なんだろう…さっきから なにかの気配を 感じて しかたないけど…
グラ…


ガシャーン
奥があったのか！
財宝だ！
くそっ
まっ暗だ
あかり　あかり！
あわてるな
小太郎
はやく
かせ！
この奥の闇に
なにかいる…
サッ


ああ…
き…傷あとが…
ガチャ
小太郎 なにをしておる
すくんでうごけんのか!
ガチャ ガチャ
だいじょうぶじゃ
鎖で つないで
ある!



ガチャ
ガチャ
た…た…
ガチャ
ガチャ
カラン
ガチャ
ガチャ
ハァ
ハァ
ハァ
あっ そうだ 財宝！ きっと あそこに あったに ちがい…
いや あそこに そんな物は ない…



※ 大羽弘道著『日本古代の絵文字』


じいさん 近江をすぎちまうぞ
いいんじゃ このまま まっすぐ 山陰へ はいる
わからんな 甲賀三郎は 財宝を 近江に もち帰ったんじゃ ないのか？
ふっふ… お前さんも 執念深い 男だの…
あ… いたたた…
おお 気が ついたか



十年前の傷あとか…やはりな…
洞穴で急にいたんでからさらにはっきりしてきたこれなんだか知ってるんですか？
まいずれ出雲についたらわかることじゃ
出雲!?
〝根の堅州国〟とは古代出雲をさすことばじゃ古代諏訪の住人はもともと出雲からながれてきたらしい
あのじじいいったいなにをかんがえてるんだ？
だがたしかになにかにぎってる…もうすこしくらいついてみるか
菊池？あの若造か
いそいだほうがいいな九州の菊池がうごいておるようじゃ
鳥取砂丘─
……冬は

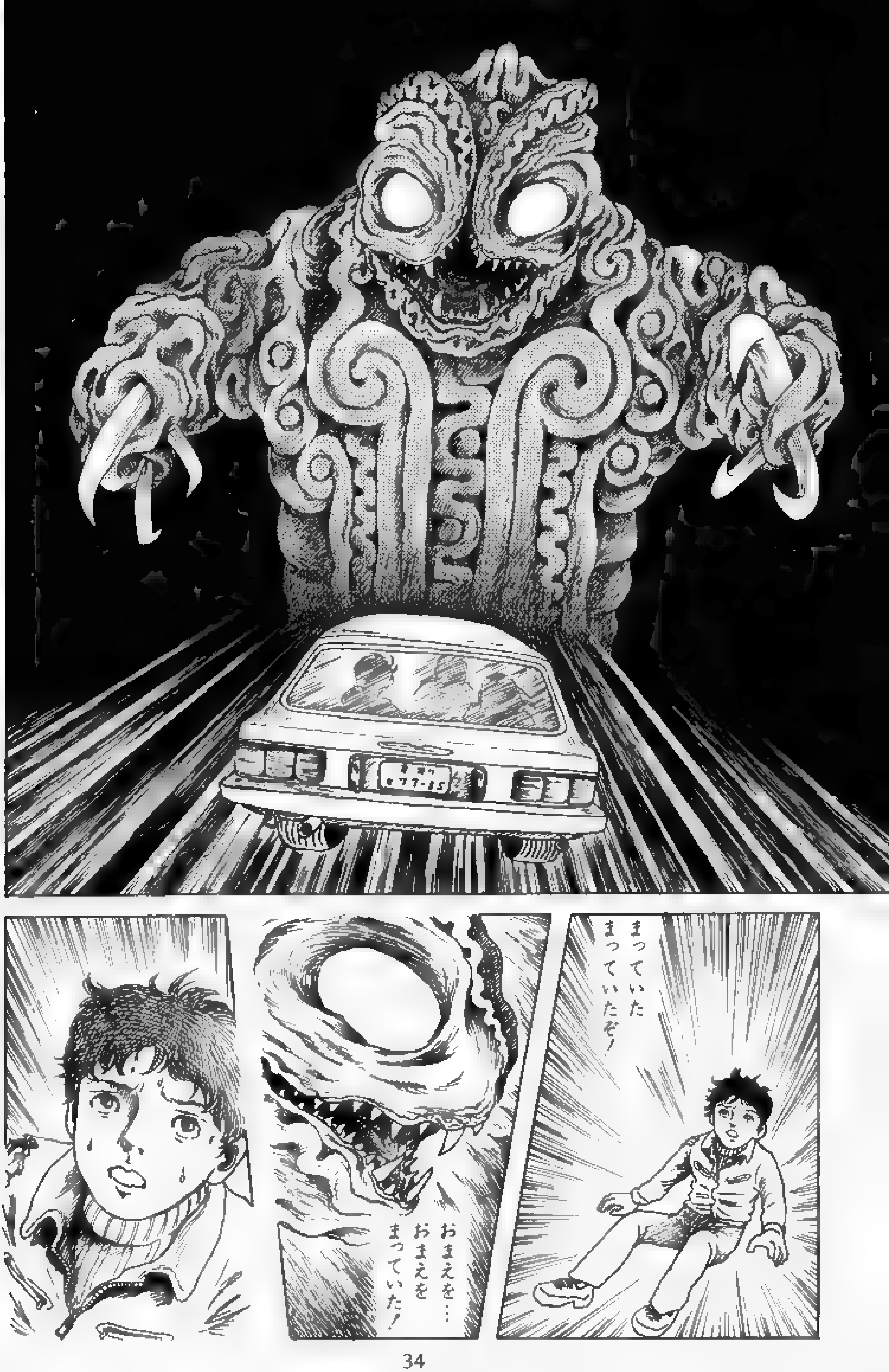

オリオンが きれいだ
…美しい……
菊池さま!
小泉の車がきました! 例の子どもものってます
よし 大太 あとをつけろ どうせ出雲へいくんだろうが…
八匹の蛇は 出雲神話の ヤマタノオロチを 思いださせる 出雲は 古くから 文化の栄えていた国 でな…
出雲神話を 話してやろう 大国主の 国ゆずり… つまり 出雲が 大和朝廷に 征服された時……
大国主の子 建御名方の神は 敵将 建御雷と 力くらべを するのじゃ タケミカズチは 葦を ちぎるように タケミナカタの腕を ひきちぎって しまう…


タケミナカタは 出雲から 諏訪まで にげて ついに 降伏し その地に鎮められる そのタケミナカタの神を まつったのが 諏訪大社じゃ
諏訪湖
蓼科山
諏訪
出雲
あの洞窟の怪物は 腕がなかったじゃろ!?
じゃあ… あ あれが タケミナカタの神 だと……!?
そうじゃ… タケミナカタの 神を あがめる者たちも いっしょに おわれて 諏訪盆地に すみ ついたのじゃろう あの白骨たちが その末路じゃ
で でも… そんな… 鎖で つながれた 神なんて…
神話に だまされ ては いかん! 神とは 古代では ありがたい ものでは なかったのじゃ!
たたりを なし 破壊と死を もたらす 恐ろしい ものじゃった! これから いく 出雲大社の オオナムチ もな…
オオナムチ とは 大国主 のことじゃ そう おびえる ことはない 小太郎 お前もな
ふん くだらん! かんがえてみれば あれは 大きな蛇か なにかを みまちがえたんだ きっと…
もう 島根県に はいるはずだが …… いやに 暗いな…
五時か… 冬は 日が おそくてな…


まもうじきあかるくなるじゃろ…
あの怪物やオオナムチがいったいなんなのか…どこからきたのか…だれも知らん
だからこそ古代人は…
神とあがめ魔とおそれ暗黒神の使いとよんだ…
ちょっと まていくら なんでも夜明けがおそすぎる！
六時半…！うすあかるくなってくるどころか……
ガタガタガタ
この暗さはどうじゃ！おい小太郎！
ライトのあかりもとどかない……道をてらさないんだ！
小太郎車をとめろ！
と…とまらないんださっきからブレーキをかけてるのに……！


みうしなった？ 一本道だった はずだぞ！
へえ… へんですな 日も こんなに 高くて あかるいのに…
とにかく 出雲大社へ いそげ！
どういう ことだ！ これは！ エンジンも きったのに
……車は すごい いきおいで 暗黒の中を すっとんで いく!!
暗黒… 暗黒の神…
オオナムチ じゃ！ 出雲大社の オオナムチが わしらを ひきよせている!!
なにかが オオナムチを めざめさせた のじゃ この土偶か… お前の 神紋か…！
どうなって るんだ 財宝は どう なったんだ!?
小太郎 江戸時代の 異端学者に だまされたな そんな物 はじめから ありゃあ せん
な なに…!?


財宝だの 蛇だのは あの洞窟の 本当の 恐ろしさを カムフラージュするための 伝説に すぎん！ 甲賀三郎は 聖域を あらしたむくいで 死んだのじゃ
だ… だましたな おれを 利用 しやがったな！
あんたは はじめから ぼくを 出雲へ つれてくる つもりで…
きけ！ お前の父親は ある目的のため 諏訪の洞窟で タケミナカタに あったのじゃ
だが かれが 死んだので タケミナカタは そばにいた お前に かわりに しるしを あたえたのじゃ
どうして そんなこと…… まさか とうさんを 殺したのは…
いや それは……
きさまこそ 殺してやる 車を とめろ さあ とめろ！
あ…あ
前方に なにか いる！


まっていた
まっていたぞ！
おまえを……
おまえを
まっていた！


チチチッ
ガヤ
ガヤ
ガヤ
どうしたんです？
交通事故さ ひでえ勢いで大社のへいにぶつかったんだ
じいさんのほうは息があるぞ うしろのシートだったからだな
ドライバーは……こりゃひでえ！
頭が半分ふっとんでるじゃないか！ まるできりとったみたいに……
もうひとりはどうです 子どもは…
子ども？ いや ふたりしかのってねえよ
いないって!?

阿修羅の章








ど　どこだろう
……ここは……
この絵は　なんだ…
ぼくに
にてるけど…?
まさか……
オオナムチ…
そうか
ぼくは　夢を
みてるんだ
………
夢ではない
恐れることもない
オオナムチは
お前を　ここへ
よぶための
わが使者に
すぎぬ



だ　だれ……？
夢でなければ　ここはどこなんだ…
お前たちのことばで　すきによぶがよい
太歳とも　常世の国とも　地獄とも　極楽とも…
お前は　ふしぎに思っているな　だが　お前が　ここへくることは　その壁面にかいてあるとおり　きまっていたことなのだ
いつからということはない　お前たちの時間で　千六百年前からでもあるし　お前の肩に　最初のしるしがつけられた時からでもある　ここには　時間がないのだ
だれなんだ！　いったい　なんのしるしだっていうんだ!?
だれでもない　わが存在を表現する　ことばなどもない　しいていえば　唯一にして　最高の真理
永遠の無にして　永遠の力　すべての時間と空間を　支配する　ブラフマンだ


オオナムチも
おまえの目に
みえている
ものも　すべて
宇宙を動かす
わが歯車の
ほんの一部に
すぎない
そして
おまえこそ
わが分身
たりうる
アートマン
として
この歯車を
動かす
権利と力を
うける者だ
ユラッ
分身……
力……？
おまえは　いま
諏訪の人穴のことを
思いだしたな
そのとおり！
この力をもってすれば
数百どころか　数億の
人間を　一度に
うち殺すことも
可能だ
ハッ


さあ
これがいいしるしだ
契約のおまえはアートマンとなる!
ガクッ
あ…あ…


おや？
磐座の上に子どもが…？
磐座とは〝神の座〟のことだが　山中などの大きな岩石も磐座とよんだ
このような巨石は神が天からおりてくる場所として信仰されたのであるこれを巨石信仰という


その子はわたしたちのつれです
キッ
あなたたちのつれ…?
ガタン
そうです ご心配なく…
ケガをしているようだが…?
む… そ そうです それでちょっと休ませておいたのです
おこすなよ ねていたほうがつごうがいい
時に この三つの大石にはなにか由来があるのですかね?
さ さあ…? 古くから〝お三岩さま〟などとよばれて信仰されていたようだが…
弘法大師(空海)がこの石を護摩壇にして密教の修行をしたなんて伝承があったようだな たしか…
ほう… 大師さまが…
菊池さま 出雲でおっかけていた子どもはこれで…
そうだ 運よく この九州でつかまるとはな…


しかし どうやって 九州まで… しかも 飛行機で きた おれたちより はやく…
バッ！
いいから はやく 車を だせ！
ここに なにやら はってあるな…
ゴシ ゴシ
ずいぶん 古い銘の ようじゃ
参猛悪好血
羅睺招災害
「参は 猛悪にして 血を好み 羅睺は 災害を招ぶ…」
サッ
熊本県—— 菊池郡の一地方…


菊池家
この傷は もう ほとんど なおりかけてるね
傷あとがのこるだろうけど… ほかは なんともないよ
あの… あなたは…?
わたしは 菊池一彦と いうものだ きみのことは よく知ってるよ
ありがとう 先生
神経が つかれてるよう だから 一日ぐらい ゆっくり休むんだね
傷あと……
ところで さっき ブラフマン…と いったかね?
ええ ええ でも あれは… きっと 夢…
夢? その肩や ヒザの 蛇形の傷あとも 夢だと いうのかね?
きみは ブラフマンという ことばを 知っていたかね? 知らなければ どうして夢にみた?


ブラフマンとは　古代インドのバラモン教の哲学で　宇宙を動かす最高原理であり　唯一真実の絶対者であるという
また　アートマンとは　人間の心の奥の自我をさし　このアートマンとブラフマンが一体になった状態を「梵我一如」といい　その境地にたっした者が　仏陀（真理にめざめた者）である
う…宇宙の絶対者？　むずかしくて…
だれだ　いたずらはよせ！
大神さん!?　もう　みんな　奥座敷にあつまってますから…



大神美弥 あんたがきたのか…
ええ 大神家の代表としてね 菊池一族をあつめてなにをたくらんでるの? 菊池彦
あとで話す… なんだ 隼人
出雲から連絡が…
竹内? あの老人か… たすかったのか?
はい… 軽い打ぼく傷ていどだそうで… 運のいいヤツです
まあ いいさ せっかく手にいれたコマだ あんな得体の知れんじいさんにわたすものか!
ああ… あの子が例の…
気にするな あいつらは菊池家の遠縁のものだ
菊池彦ってなんです?
きこえたのか… なに 代だいの菊池家の当主のことさ
わたしは七十三代目の菊池彦さ じゃあ ゆっくり休みたまえ
菊池彦の呼称は古い 「魏志倭人伝」には 三世紀の日本―― おそらく九州に狗奴国の狗古智卑狗として登場する


四世紀のこの地方には狗奴の後裔であろうクマソが勢力を振るい大和朝廷と対抗した
蔵座敷だ遠慮なくあがりたまえ
さすがはクマソの子孫…菊池家の宗主だわね
そのクマソの遠い後裔たち菊池一族と名のる者たちがここ菊池家にあつまっていた
阿蘇家…大神家…
隼人族の子孫である大角隼人ら



緒形家の二郎 三郎兄弟…
かれはまちがいなく聖痕を?
そして主宰者は菊池家の若き当主菊池一彦
たしかだ すでにふたつも…
では かれは"後継者"だ!
"後継者"!?
一万年以上も前から日本列島には「原日本人」ともいうべき種族がすんでいた縄文文化人で
だが かれらは縄文時代のおわり(紀元前三世紀ごろ)なんらかの原因でほとんど死にはて絶滅してしまった
今の日本人は 大部分弥生時代以後に北や南から 日本へやってきた民族の子孫だ…
でも わずかに生き残った縄文人もいたわ
クマソがそのひとつ…つまり あたしたち菊池一族は もっとも古い日本原住民の子孫ね
そして その子孫の中から"後継者"が現れ
古代縄文人の遺産をひきつぐと 各家の家伝は伝えている
しかし…ヤツは菊池一族とはちがうんだろう?
武の父の家はわれわれとは別系統で牟邪志(今の東京)にいた古代人の子孫なんだ
それに母親も…な



※磐井：六世紀、大和朝廷に対して反乱をおこした九州の豪族。

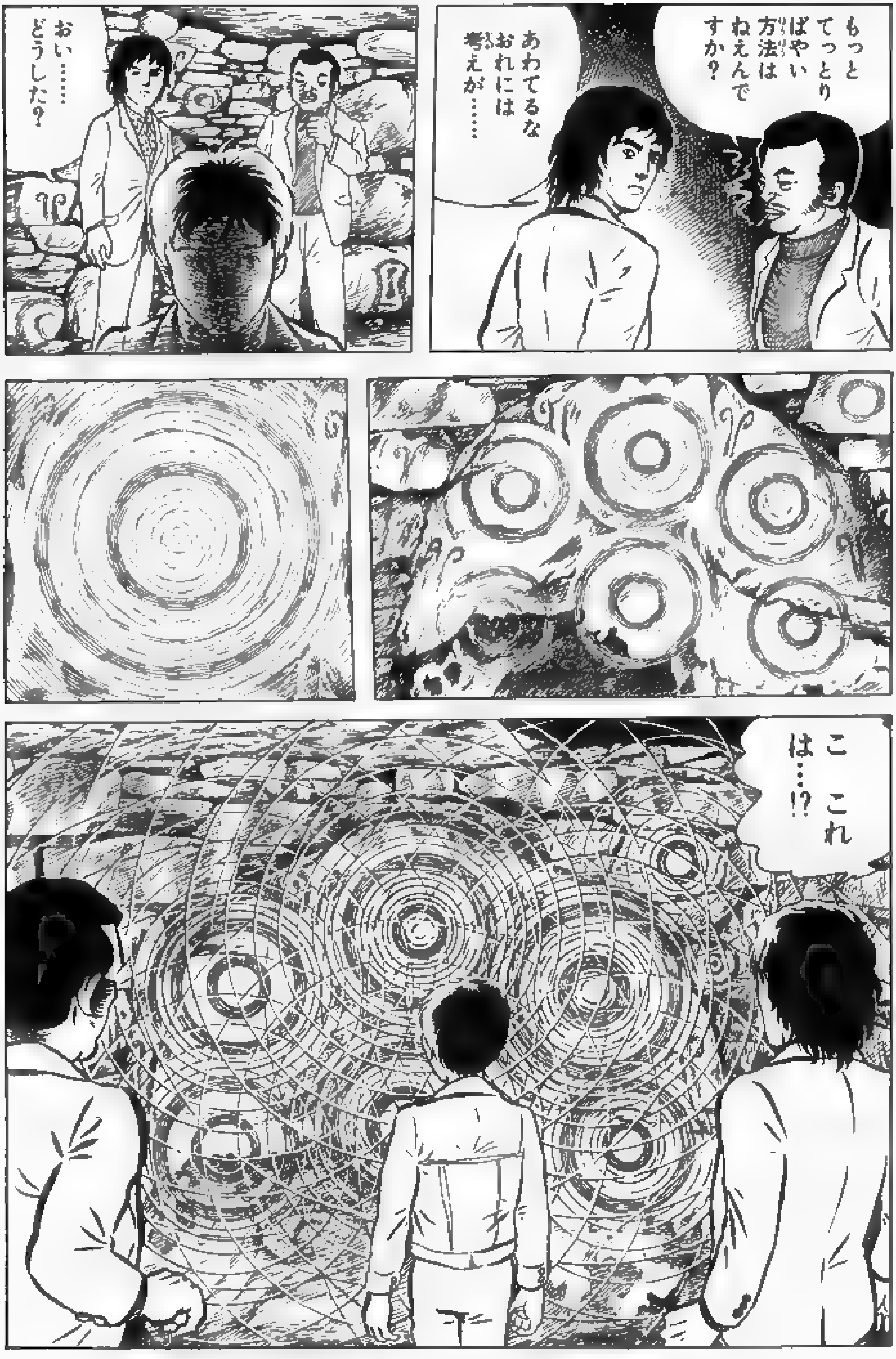

菊池彦！これは凶兆だ！
ちがう！時が きたんだ！
家伝にある！天の斑駒がひきさかれる時
暗黒神 スサノオが地上に出現すると！
どこへいくの？
きみにみせたいものがある
でも ぼく 家に帰らないと…母さんが心配してるから…
お母さんへはわたしから連絡しておいた心配することはない
あなたは…母さんを知ってるんですか？
お母さんからわたしのことは何も きいてないか……
ま あとで話してやる
出雲で消えたきみは自分でも知らぬ間にこの巨石の上にねていた……
何もおぼえてないか？

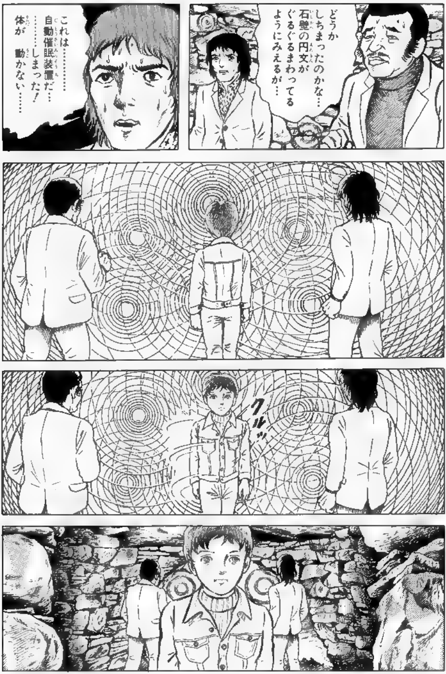

まあいい　もうひとつ
みせたいものがある
すぐそこだ
史蹟 竹原古墳
竹原古墳？
六世紀の装飾古墳だ
この諏訪神社の境内にある
この古墳だ
あの三つの巨石も
この古墳と
無関係ではないと　おれは
思っている
諏訪!?
信濃の諏訪大社の分社さ
きみが諏訪から出雲を
通って　ここへ現れたのも
偶然じゃないというわけだ
残念ながら
石室へは入れない
ここから　のぞいてみたまえ
装飾古墳とは石室の石壁などに
絵や文様の描かれた古墳で
九州に多い
その中でも　この竹原古墳は
その特異な力強い絵で有名である


竹原古墳は福岡県鞍手郡
若宮町竹原の諏訪神社境内にある
何よりも目を引くのは 中央上方に
描かれた不思議な神馬である
角や爪を生やし 尾は蛇のように長く
全身と口から火を吹き出している
この怪獣は何を表しているのだろうか?
おれは最初 この絵を
みた時 これこそ
天の斑駒だと思ったものだ
全身の赤い斑をみてみろ
九州へ戻った時も なぜか
無性にこの絵がみたくなって
竹原へ寄ったのだ
そこできみをみつけたのだから
これも菊池家の石馬の
導きかもしれんな
来い!
早く来い!
しるしを受けに来い!


どうした!?
竹原古墳の絵に反応を示した 明日からほかの古墳もみせてみよう
近い所ではこれだ 弁慶ヶ穴古墳…菊池の豪族の墓だろう
これら装飾古墳の絵や文様に暗黒神の謎をとく鍵があるとおれはにらんでいる
チブサン古墳(熊本県山鹿市)
長岩横穴群(熊本県山鹿市)
なんで胸がえぐれてるんですかね?
これもなにか呪術の意味があるのだろう


むだじゃないですか？
反応があったのは竹原古墳だけ…
いや そうでもない きのうまでの武とは少し様子が違う
確かに装飾古墳を巡っているうちに武の中に何かが目覚めつつあった……
このまま進むと何かとてつもなく恐ろしいものが待っているのではないか……
そう思いながらも武の心はすでに古墳の呪的文様に捕らえられ先へ先へと導かれていた……
珍敷塚古墳（福岡県浮羽郡）
浦山古墳（福岡県久留米市）
あと塚花塚とガランドヤで今日はおわりにしておくか……
比留子古墳（福岡県某所）


もっとてっとりばやい方法はねえんですか？
あわてるなおれには考えが……
おい……どうした？
こ これは…!?


どうか
しちまったのかな…
石壁の円文が
ぐるぐるまわってる
ようにみえるが…
これは…………
自動催眠装置だ…
………しまった！
体が 動かない……
クルッ


やつがいく……
いってしまう……
くっ……
なんとか この
呪縛を……
殺せ!
殺せ!
殺せ!
殺せ!
ブラフマンに
認められた者
以外 スサノオに
近づくことは
ゆるされぬ
殺せ!
なぜだ……
おれは 菊池彦だ
菊池一族の
正統な あととり
の……
なんびとで
あろうと
スサノオに
あうことは
ゆるされぬ!
殺せ!


殺せ!
殺しあえ!
相手を殺せ!
い…いかん……大太やめろ……
く……く……


よせ大太!
バラバラッ


ぐわっ!!
大太!



くそ！
おれとしたことが！こんなしかけに……
菊池彦さま！
どうしたんです！そのけがは……!?
おれはだいじょうぶだ それより武が逃げた 武を追え！
まて 隼人 武は夢遊状態だ あとをつけろ 行先を確かめるんだ！
はい！



ブラフマン！
ブラフマン
ブラフマン
アートマン
アートマン
アートマン
契約
契約
契約
大きな力
ガタン
しるし
しるし
しるし
ぼくは 電車に 乗っている らしいな……
ガタン
ガタン
ガタン
ガタン
ガタン
―た…あ…
―…お…い…た…
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
人の声が する……
どこだろう ここは……
感覚が しびれてる…
何も感じない…
頭も働かない…
ブラフマン…?…
聖痕…菊池…?

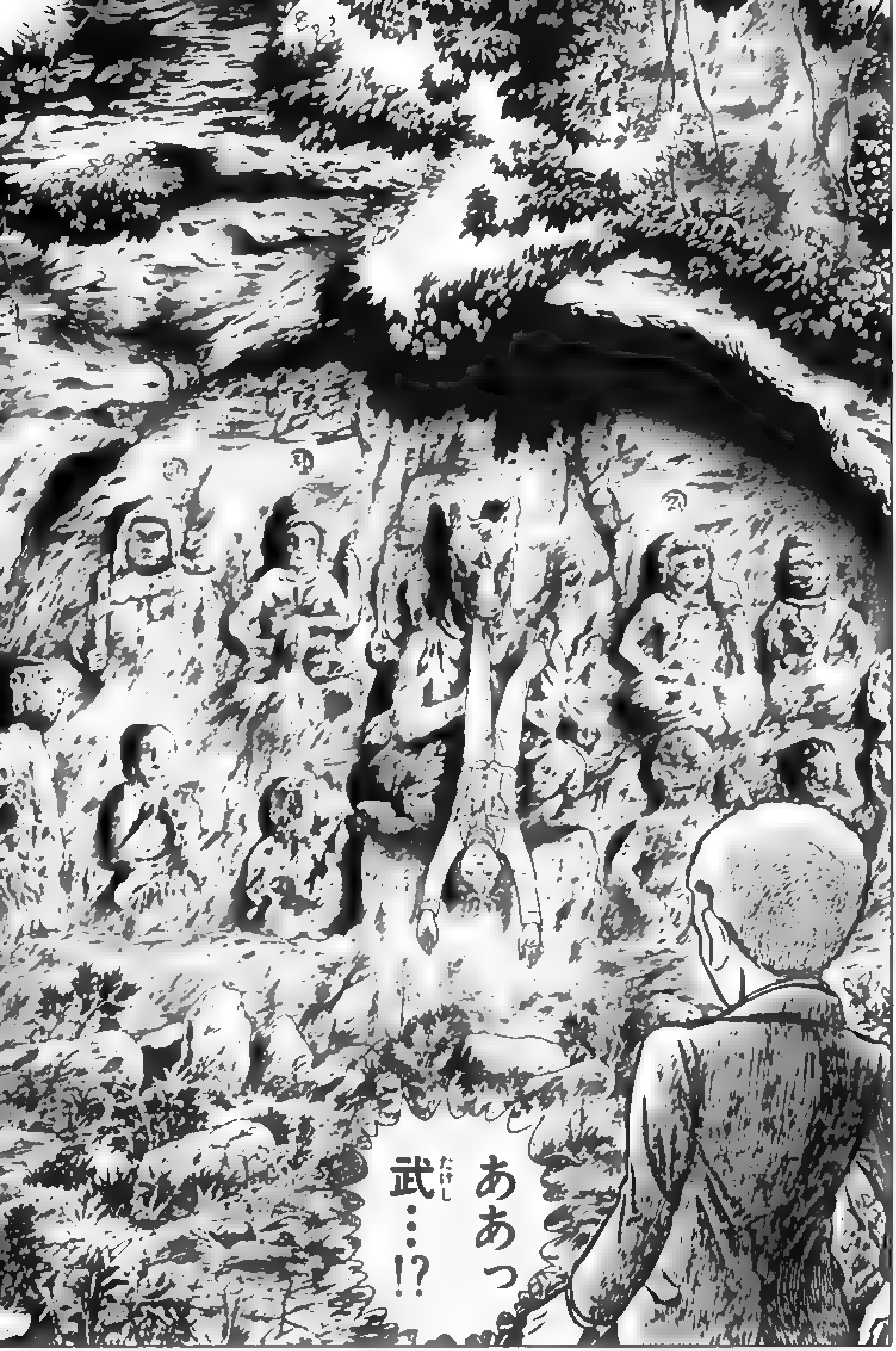



ブ…
ブラフマン
……？


ブラフマンのしもべであり暗黒神の使いだ
どうだ決心はついたか
決心はついたか
ついたか
決心はついたか
あの古墳か? あれは選ばれた者への道しるべでありそれ以外の者を秘密に近づかせないための装置だ
秘密はまもらねばならぬ
秘密をまもる
秘密を……
秘密
秘密
秘密…秘密の力…?
ぼくに…どんな力をくれるっていうんだ……?


ワハハハハハ
ハハハハ
ワハハハ
決心したな
そうだ
それで いいのだ
おまえは
アートマンだ
アートマンだ
おまえは
宇宙の根源
ブラフマンと
結びつき
転輪聖王
となる
そのために
やがて
遠い遠い所で
暗黒を
つかさどる神
スサノオに
あうだろう
だが まだ
その時ではない
おまえはこれから
体に 全部で
八つの刻印を
うけねば
ならぬ
すでに
諏訪と出雲で
ふたつうけた
これが三つ目だ
八つの聖痕が
そろった時
……!
おまえの運命は
成就する!


たしかに この山道を 登ったはずだ…
催眠状態ってのは いくら 歩いても 疲れないのかな 国鉄に とびのって 大分で のりかえ
この国東半島で おりてから もう山の中を 五 六キロ 歩いてる が……
石仏か…
そういえば このあたりは 磨崖仏が多くて 有名なところだ
磨崖仏とは 自然の崖や岩などに そのまま仏像をほったものである 大分県の国東半島は 古来 山岳 仏教の栄えた土地で けわしい 山中に多くの磨崖仏が 残されている
国東半島
竹原古墳
福岡
宇佐
日ノ岡古墳
岩戸山古墳
チブサン古墳
大分
菊池
阿蘇山
長岩横穴群
熊本
武が 自分でも 知らぬまに ブラフマンに みちびかれて来たのは この国東の山中であった


ああっ
武(たけし)…!?


餓鬼の章



──秘境　国東──
きみは菊池の家で待機していろといったはずだぞ
女に　この山中はムリだ
かまうな　たいしたケガじゃない
菊池一族のひとりとして　参加する権利が　あるわ
大神家の利益をまもるためにもね
菊池彦　もっと　ゆっくりあるいたら？
あそこね！


菊池彦さま!
ここか! 隼人 武は!?
そ…それが……
すみません 連絡のために 目を はなした スキに……
まあ いい… いずれにしろ 目的に 一歩 近づいたんだ
遠くへは いっていまい 手わけして さがすんだ
フム……


施餓鬼寺
おしょうさん
おしょうさん
いきだおれですよ
山門のところに……
そうか お経を あげて
やりなさい
死んじゃおりません
ケガしていたから
本堂に ねかせて
おきました


おしょうさん いいかげんに なさいませよ 昔は 西の比叡と まで いわれた 当山も これでは さびれる一方…
なーに 総本山の 延暦寺でも
この寺だけは つぶすわけには いかん 理由が あるんじゃ
そういえば 今年も そろそろ 施餓鬼会の時期だな
はい もうすぐ 慈空阿闍梨さまが 下見に おいでになる でしょう
その時ぐらい シラフでいて くださいませよ
うるさい わい それより なにか サカナを もって こい！
木魚でも かじって なさい ませ…
そんなものが サカナに なるか！
ヘリクツ ばかり ぬかし おって…
……
お おっ おしょうさん たた たいへん…
……！
なんだ 酒屋が たまったツケを とりにきたのか？
じょ 冗談じゃ ありません ほ ほ 本堂を みてください！
本堂が どうした んだ？
おっ！？


スッ
餓鬼どもだ 急に どうした ことだ……
今まで 施餓鬼会の 時以外 現れた ことなど ないというに ……
お… おしょう さん……



きみは 武を さがしに いかんのか?
あなたが ここに 残って 何を するのか 気になるわ
フン たいしたことじゃない そこに ほってある 梵字が 気に なるだけだ
梵字?
上のほうの 四つの石仏の 頭上に ほって あるだろう 梵字のよみ方を 知ってるか?
さあ…?
それらは 種字といって 仏の名前を 梵語の一字で 省略して あらわした ものだ
そこにあるのは 孔雀明王をあらわす で「マ」と 発音する
その左のは 夜叉を 意味する「ヤ」



右のほうの
乙は「タ」
は「イー」と
よんで
帝釈天を
あらわす
それが
どうした
の?
左から
ならべて
よむと
「ヤ」「マ」
「タ」「イー」…
「ヤマタイ」となる
千七百年前
日本のどこかに
邪馬台国という
国が あった……


ほう　目が
さめたな
ぼうず
山道で
ころんだ
のか？
まあ
ゆっくり
休んでいけ
この
仏さまか？
ご本尊の
馬頭観音さまさ
脇侍は
日光と月光の
菩薩さまだよ
バトウ
カンノン？
畜生道や
餓鬼道に　おちた
人間を　すくって
くれる仏さまじゃ
頭に　馬の首が
ついとるじゃろ
忿怒像の観音と
いうのは　これだけでな
この施餓鬼観音は
暴悪大笑面と　いって
特に恐ろしい面じゃ
この裏の山中に　岩にほった
馬頭観音さまが　いらっしゃるが
これは　もう　完全に　馬の首を
してらっしゃる
あそこは　もとは
奥の院といって
この施餓鬼寺が
できる　ずっと
以前から　あった
磨崖仏じゃ
この観音の馬頭は
転輪聖王（インド神話の
超人的な全世界の王）の
乗馬を　あらわした
ものといわれて
いるが……
もともとは
インドの
ヴィシュヌ神の
化身が　仏教に
とりいれられたもので
本来の姿は　人身馬頭
だったんじゃな……


転輪聖王
……どこかできいたような……？
しかし これでは おっかなすぎて 信者は あつまらないし 坊主は ヒマで 酒をのむと…
それは逆でございましょう
どれ 食事の前に 傷をみせてごらん
ほう？ もう 傷口が ふさがってる さっきまで あんなに 血が でていたのに…
ザッ
それにしても この傷あとは……
さあ そう かくさんで …… シップだけでもしとかんと…
どうもお前さんは よほど 悪い業が あるな なにかに とりつかれとるような ……
どうだ 図星じゃろう これでも この泥粋和尚の目は フシ穴じゃない
ただ ナマグサなだけで……
ビュッ



この施餓鬼寺は伝教大師（最澄）さまみずから餓鬼供養のためひらかれた寺でな……
ふだんはこんなにさびれとるが毎年正月と盆には施餓鬼会という法会をおこなうのじゃ
この日だけは比叡山などからおおぜいの僧がきてな…本堂で読経をする
すると読経の最中に餓鬼どもが現れて布施をうけてまた消えていくわしもみたことがある……
お前さんをみているとどうも不安での餓鬼どもにみこまれたようで……
みつけたぞ！隼人
この寺だたしかにいる！


中国の史書「魏志」〝倭人伝〟中に
三世紀の日本にあったという邪馬台国という
国と　その女王卑弥呼のことが述べられている
それによると倭人は朝鮮半島の東南の
大海中に住み　対馬・一支・末盧・伊都・奴・不弥・
投馬などの国を経て邪馬台国に至るという
その国を支配するのは卑弥呼という
女王で　鬼道に事えてよく衆を惑わし
弟の王に国を治めさせていた
魏の明帝の時に使者を送って朝貢し
親魏倭王の称号と金印紫綬を
授けられた
邪馬台国の南には狗奴国という
敵対的な国があり　その官の狗古智卑狗は
菊池彦であろうといわれている
女王の死後　男王を立てたが国を治める
ことができず　宗女壹与を立てて
ようやく治まったという
この邪馬台国が日本のどこにあったのか
卑弥呼とは何者なのか
この上代史最大の謎は今もって
議論が絶えない
対馬
一支
末盧
奴
伊都
邪馬台国
宇佐
国東
菊池


大きく分けて畿内の大和朝廷に結びつける説と北九州の女酋とみる説に分かれるが主流の九州説でもその比定地に関してはさまざまな説がある
各地の邪馬台国比定地
畿内大和説
国東半島
宇佐説
博多湾岸説
筑後山門郡説
菊池郡山門郷説
島原半島説
大隅説
そのひとつに 国東半島のすぐ近く宇佐を中心とする中津平野だとする説がある
全国八幡社の総本山宇佐八幡は 古くは八幡とよび ヤマタイから変化したよび方で その祭神 ヒメ大神が邪馬台国の女王卑弥呼であるという
ここが邪馬台国? 菊池彦何を 考えてるの?
「魏志倭人伝」は知ってるか?
いってみろ
ばかにしないで! 暗誦できるわ
「南して邪馬台国に至る女王の都する所水行十日陸行一月…」
「その南に狗奴国あり」……「狗古智卑狗あり女王に属せず……」
菊池一族ね これが…
ふたつの石仏がこっちをみている…
「…名づけて卑弥呼という鬼道につかえよく衆をまどわす…」
ザッ
ザッ



「年すでに長大なれども夫婿なし男弟ありたすけて国を治む…」
ザザッ
目だ！
目？ なに……？
みろ こんどは三つの石仏がそろってこっちをみつめている！
もう一歩さがると……？
ザザッ
ドン
ここだ！ 四つの石仏の視線はたしかに ここに集中してるぞ！
頭上に 梵字のある四つの石仏は何かを 教えようとしてるんだ 四つの視線が まじわる地点は
ここ……！
…いや！ この庚申塔だ！


そのころ　邪馬台国の鍵をにぎる
ここ　宇佐八幡宮で　偶然
ふたりの人物が　であっていた……
ほう
比叡山から
まいられましたか
この宇佐神宮へ
ですかな？
いやいや
じつは
国東六郷山の
施餓鬼寺と
いう寺に　用が
あるのです
同じ方向ですな
ごいっしょしても
よろしいですかな
どうぞ　どうぞ
ご参拝は　もう
すんだのですか？
すみました
もっとも
わしの場合
本宮では　なく
黒男神社に　参拝
するのですが…
ちょっと　縁が
ありまして……
黒男神社…
あそこは　たしか
武内宿禰を　祭った
ところですな
それで縁とは…？
武内宿禰に　ついては
ご存じですかな？
これは　ふしぎな
人物です
四世紀から　五世紀にかけて
六人の天皇に　つかえ
三百年も　生きたといわれ…


さらに わしの考えでは
三世紀の卑弥呼にも
つかえておった…
「魏志倭人伝」にいう
卑弥呼のもとに
出入りしていた
ただひとりの男と
いうのが それです…
その男の役は
審神者――
巫女を通じて
神の言葉を
伝える者……
いわば神と
人間の仲介者と
いえましょう
およばずながら
このわしも
神と人間の
仲介者に
なりたいと
思っとります!
ほう…
フン 見ザル
言わザル 聞かザルか…
自分で さがせというわけか
まて
見ザルが
目を
あけてる…
やはり 目が
ヒントか?
その
馬の目は
空洞だな
……
指が
なにかに
ひっ
かかる
…!
ゴ・ゴン


ゴゴン・ゴン
ゴ・ゴ・ゴ・・
ほう 天の岩戸かな
どうした つづきは?
「お…王と なりて…このかた 見ゆる者 少なし…」
なるほどな… この洞穴に かくれて だれにも 姿を みせなかっ たんだ なぜかな…


「卑弥呼 すでに死す 大いに冢を作る……」
ふん こいつは 諏訪の洞窟と そっくりだな おれは 以前 甲賀三郎の人穴と いうのに はいった ことが あるが……
このあと 邪馬台国は とつじょとして 歴史から 消滅して しまうのよ 三世紀末に…… なぜかしら!?
諏訪の地底国と 同じに 何かが おこって 邪馬台国は ほろびたのだ 一瞬のうちにな……
いいか 宇佐には 出雲の八俣の大蛇と そっくりな 大蛇伝説が あって 古代に 大災害が あったことが しめされている……
「鍛冶の翁あり 奇異の瑞をあらわして 一身にして八頭の大蛇となる 五人いけば 三人死し 十人いけば 五人死す」
（宇佐宮託宣集）
また 別の伝説では 祖母山に竜駒という 角のある神馬がいたともいう これらが 何を あらわすか……
卑弥呼が 祭っていた 鬼神と いうのは 暗黒神スサノオ だったに ちがいない そして 卑弥呼は ……



棺は カラよ そして 卑弥呼は どうなったの? 煙のように 消えて しまったの?
印鑑のようだ… 「親魏…」 と よめるぞ……
「今 汝をもって 親魏倭王と なし 金印紫綬を かし……」
菊池彦 ちょっと これを みて!
卑弥呼が 中国の 魏から もらった 金印に ちがいない だが 半分 かけている…?
棺のフタに 何か かいて あるわ!
神代文字のようだな よめるか?
たぶんね 神代文字は 勉強した ことが あるわ
「女王卑弥呼 金印を もって 暗黒神に つかえ…」
「大御水にて 不老不死を得…」


ほかのふたつの棺もあけてみろ
たぶん弟の王か宗女トヨの墓だ!
全部 カラだ…
いや はじめからカラだったのだ…
卑弥呼もトヨもだれひとり死ななかったのだ…
不老不死…?
これね…
うん…?
不老不死の秘法…
あなたが菊池一族をあつめてさがしまわっていたのは これなんでしょう?


ばかな…おれは
そんなものに
興味はない
ひとりじめにする気? 権利は 一族のもの全員に あるのよ
いいえ! さっきの伝説で 八頭の竜を しずめたのは 大神比義だと いうわ…だから
あたしたち… 大神家に 最優先権が あることになるわ!
ははは…いいだろう その秘法とやらが わかったら 権利は 全部 きみにゆずってやるよ
そのかわり おれは この金印を もらおう
本気ね!?
菊池彦さま〜
菊池彦さま〜!
どうした 隼人!
あっ 菊池彦さま! 武が みつかりました!
そうか!



あたしは　もう少し
調査するわ
だれか　ここにいた
ほうがいいでしょ？
こっちです！
夜に　ならんうちに
つかまえるんだ
いそげ！
施餓鬼寺と
いう寺です
岡田のヤツが
みはってます
だいぶ
暗くなって
きましたな
もうじき
ですじゃ
あなたも
施餓鬼寺に
用が？
いや
じつは　わしは
奥の院の磨崖仏を
みようと思いまして…
ほう…お！
寺が　みえて
まいりました


阿田！
阿田…へんだな……
うわ…
ゴロン
き…菊池彦さま…！
阿田の腕だな！その服は！
本堂だ！
ガタ
ガタ
ガタン


ど どうしたんでしょう?
さっきまでは
こんな……
やっ!
どうしたことじゃ
このあれ方は!?
そこにいるのは泥粋さんか?
うおおっ……!?
むっ!
菊池彦!?



※日光、月光菩薩は、ふつう、薬師如来の脇侍とされる。


その武と いうのは いつだったか 磐座の上に いた少年の ことかな？
そうか 思いだした あの時の 叡山阿闍梨 か……
やはりな まさに あの石の 銘文の 通り じゃ……
「秦は 猛悪にして 血を 好み……」
上人 それは ……
菊池彦さま どうします？ また あの 岩屋へ…？
シッ！
岩屋？ まて 菊池彦 それは もしや 邪馬台国の…
なに!? きさま 邪馬台国の ことを 知ってるのか!?
あれを みつけた のか！ まさか… まさか 泉に 手を つけな かった じゃろうな!?
泉？
ゴトン…


さらに奥が　あるわ
ここにも古代文字が……
永遠に生きる…若く美しいままで…この　わたしが！
「不老不死を得んとする者…この泉にて全身をつかり…」
不老不死の秘法！


泉に…あの泉に
手を つけては
いかんのじゃ…
不老不死？
ふん ちがいないわ！
大変な秘法じゃ！
その昔
邪馬台国が ほろびた時
卑弥呼と側近たちは
死から のがれるために
禁じられていた秘法を
使ったのじゃ
おろかなことじゃ
卑弥呼は 結局
身をほろぼした！
ピチャ…
ピシャッ
ザブ…


菊池彦にばかり
当主ヅラを　させて
おくものですか
邪馬台国の
遺産は
このわたしの
大神家が
……………
うっ…!?
ぐえ…
……え…
え……
ぐわあああぁ…


おそかったか！
な なんだ!?
おまえが 知っていた 女じゃよ…いや 女だった ものじゃ 上人の話していた 餓鬼じゃ
大神美弥!? この化け物が ……!?
人間の弱い肉体で 不老不死など 可能だと 思うかね？ ムリなことじゃ！
肉体組織の構造を 細胞そのものから かえてしまわねば ならん だが… そうなったら もう 人間ではない
みろ！ もはや 人間の心もなく 理性も 思考能力も なくして しまっておる
カッ
卑弥呼らも このような姿に かわりはてて 千数百年間 施餓鬼寺に とじこめられて おったのじゃ
シッ！ あさましい 生き物め お前に ふさわしい ところへ いけ！


ガサッ
みたか おまえも あまり 首を つっこまん ほうが いいぞ
まて! なぜ そんなことを いろいろ 知っている!?
その岩屋は もと通り しっかり ふさいで おくことじゃな だれものぞかんように…
までと いうんだ!
きさま 何者だ!? なぜ おれの まわりを ウロウロ するんだ!
うう……
いいか! お前のすきなように やってみるがいい だがな ブラフマンは… 暗黒神スサノオは お前などがいいように できるような そんな ちっぽけな ものでは ないのだ!
きけ 菊池彦


ブラフマンに近づくことができるのはあの少年だけなのじゃ
くそ……
年よりのくせになんてえ力だ……



地獄の章




大阪府羽曳野市に 白鳥陵という
前方後円墳があるが……
ある朝まだき
この古墳に
一大異変が
おこっていた
一夜にして その後円部が 無残に
掘りかえされていたのである
ガヤ
ガヤ


やっぱりふつうじゃないですよ人間わざとは思えない
武だな…
武が大分から船に乗って大阪へむかったことまではわかっている
餓鬼どもは人知れず海中をでもいかせたんだろう
武があの餓鬼どもをあやつっているということですか?
アートマンだからな! それよりメンバーは集まったか?
はい全員…
菊池家から三人緒形家からふたり隼人族が四人……
大神家阿蘇家日野家…いずれも菊池家につらなる者たちです
よし!
いいか! 武はたぶんこの竹の内街道を東へいったはずだ飛鳥から奈良にかけて網をはる!
昼間ともなれば餓鬼どもはいやでも人目につく
菊池一族の総力を結集してでもおいつめるんだ!!


そのころ……
ここは　天台宗の牙城
比叡山延暦寺……
なに!?
羅睺が　現れる
かも　しれないと
申されますか！
さよう
その少年がいた磐座に
〝参〟と〝羅睺〟の字が
ほられてありました
それが　気に
かかりまして
施餓鬼寺へ
いくまえに
宇佐神宮の
奥宮……
あそこにも
ご神体という
三つの巨石が
あるのを
思いだしまし
て　立ちよっ
たのが
裏目にでて…
手おくれに
なって……
申しわけ
ありません
……
……
わしは……
アートマンが
出現するのは
もっと　ずっと
未来かと
思って
おったが……
釈尊のつぎに
出現なさる
弥勒如来の
ことですかな？


仏伝によれば 釈尊(釈迦のこと)が 誕生なされた時 全世界を支配する 転輪聖王と なるか……
人びとを救う 仏陀になるか どちらかであろうと 予言されている… 結果は 周知のとおりじゃ……
その少年が 仏陀の 道を選べばよいが もし 転輪聖王を 選べば……
鎮護國家
しかし まずは 餓鬼調伏が 先……
馬頭観音像は こちらへ 運ばせました
千百年ぶりに 施餓鬼陀羅尼を 使うことになり ましょう だが それには餓鬼どもの 居場所が……
よろしい それは おまかせなさい


—飛鳥
石舞台……
どうした
隼人
なにか
みつけたか?
足あとだ
人でも
獣でもないぞ
……
わりと
新しい…
手わけしてさがせ!
ハッ
竹内だ
なぜ ここに
……?

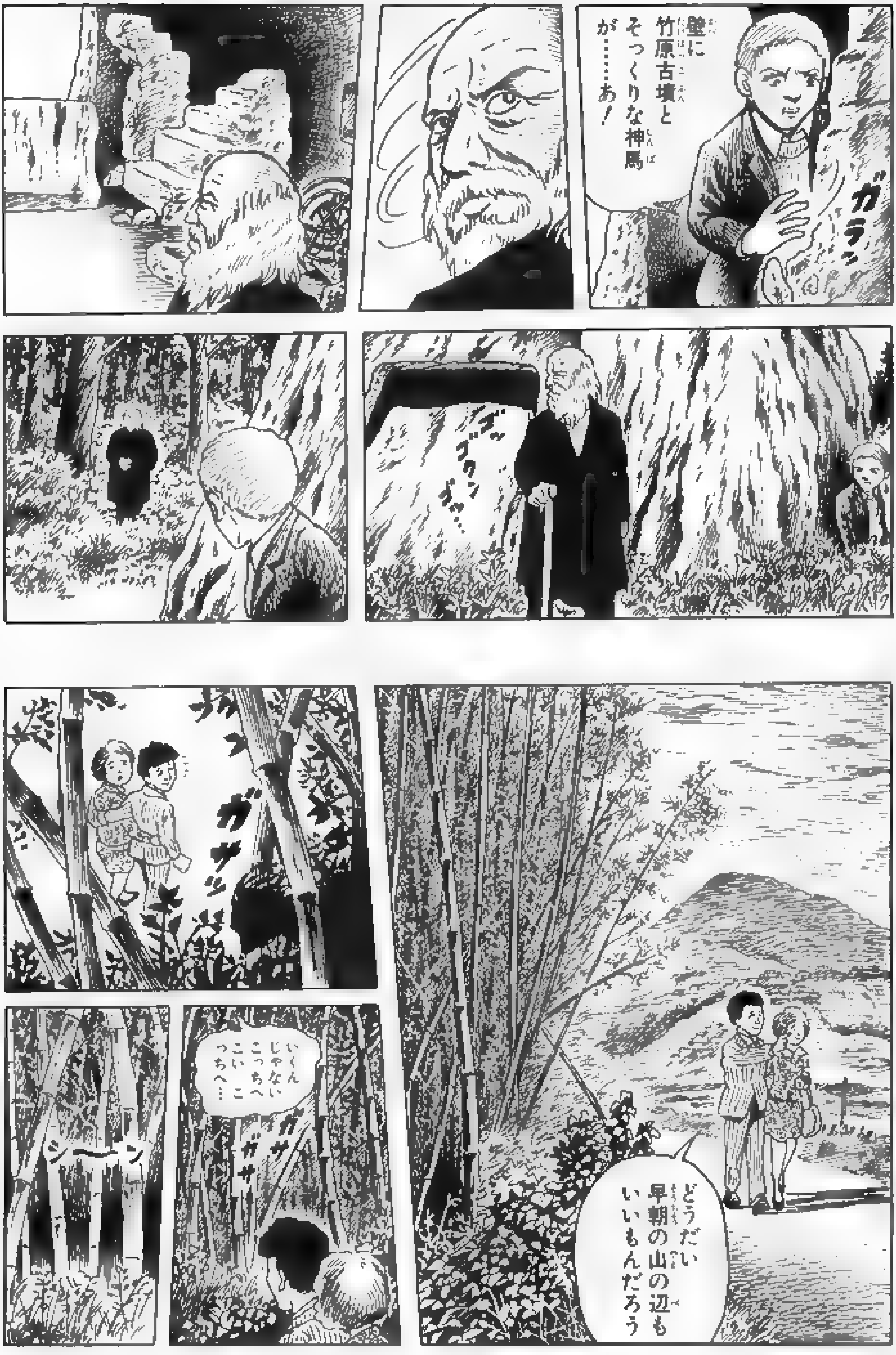

菊池彦 武は 餓鬼どもを使って 白鳥陵から なにか 掘りだしたんだ それは一体 なんだろう?
きまってるさ! こいつのかたわれだ
邪馬台国の 金印か だが なぜ 半分なんだ!?
それは知らんが 卑弥呼から その半分を 奪ったものがあるなら 邪馬台国と 戦争をして いた狗奴国にちがいない
狗奴とは クマソのことであり 白鳥陵は ヤマトタケルの墓だ そして ヤマトタケルは 四世紀に クマソを 討伐した英雄だ
邪馬台国―狗奴国 ―クマソ―ヤマトタケルと 一本の線でつなげる ヤマトタケルが 最終的に 金印の半分を 手にいれたんだ
金印をめぐって 血みどろの 奪いあいだな 日本の王の しるしだからと いうわけかな
それもある… だが それだけじゃ あるまい


ここから山ぞいに北へむかったようです
緒形兄弟がおっています！
隼人は？
あいませんでしたか？連絡にいったものとばかり……
いや知らんぞ
手わけして桜井へかけて三輪山からかためろ！
日野らは先まわりして天理市へいけ！
橿原市の南方に益田の岩船という巨大な遺跡がある古代の天文台ではないかともいわれるが……
？


ゴクン……
岩船の一部が開いた! 中は 空洞だぞ!
ふしぎなじいさんだ どうして こう いろんな秘密を 知ってるんだろう 石舞台では なにを していたんだろう
石舞台は 蘇我馬子の墓だったな…… 竹の内街道も 馬子が つくったものだ
竹の内? 竹内?
蘇我氏の祖先というのは たしか……
そうだ! 武内宿禰!?



天井に星宿図が……天武天皇がつくった天文台だというのは本当なのか…
古代の天文博士や陰陽師は この台の上で 星を観測して 占星をし この内部で 暦をつくったんだ
ふふ…
コン コン
もうじき また これが 必要になるかも しれんな
?
ザッ
あ……


壁に竹原古墳とそっくりな神馬が……あ！
ガラッ
ズッ
ゴクン
ゴッ…
どうだい早朝の山の辺もいいもんだろう
ガサッ
いくんじゃないこっちへこいこっちへ…
ガサ
ガサ
シーン


ザ
ザ
ザ
ザー
な なに？ 犬かしら……？
さあ……？
気もちわるいわ もう 旅館に 帰りましょう
う… うん
菊池彦 なにを 考えている？
どうにも ひっかかることがある いや なんてことは ないんだが…… 国東の施餓鬼寺…
あそこの 馬頭観音が スサノオと なにか関係が ある…… いや スサノオ そのものかも しれん
観音と スサノオ？
いいか！ スサノオは アマテラス（太陽）と ツクヨミ（月）の 弟 なんだ
ところが あの観音は 日光 月光 菩薩を脇侍に していた！


「古事記」によると
イザナギが黄泉の国を
脱出して 禊をした時に
生まれたのが アマテラス
ツクヨミ スサノオの
三貴神である
アマテラスは 高天ヶ原を
ツクヨミは 夜の国を治め
それぞれ 太陽と月の
神格化である
ところが スサノオにいたっては
高天ヶ原で 乱暴をはたらき
生皮をはいだ 馬の死体を
神聖な機屋に投げこんだりして
地上に暗黒をもたらし ついには
根の国に追放されてしまう
このスサノオについては古くか
ら暴風雨の神とも 蛇神とも
悪の化身とも いわれているが
本当の正体は 謎なのである
しかし……
わからん
なぜ 馬頭観音
なんだ!
スサノオの正体は
なんなんだ!?
菊池彦さま!
三輪山のふもとで
武と餓鬼らしい
ものをみかけた
アベックがいます
そうか!
おっ!?
緒形が
みつけた!
いま
三郎が
おってる
奈良市へ
むかってる
ようだぞ!



ハッ
ギ…
仏像で思いだしたが
あんたに あずかった
この紙片の絵……
これは
密教の
儀軌にある
仏像らしい
宿曜経でいう
九曜のうち
羅候という
ものに
にてるな
羅候!?
はっきりとはわからんが
災害の前兆という星を
抽象的にあらわした
ものだ…もっとも
頭上の蛇は ふつう
九匹なのだが……
宿曜教とは
密教の占星術の
経典で……
あとだ
阿蘇
さん!
みつかったのか!?
武は いたか!?
そ…
それが…


ううっ…
うげっ………
緒形！三郎はどこだ!?
うっ…
三郎の靴だ！
内臓や骨がくいちらかされている…ひどいもんだ
武は？
いない…平城宮跡あたりで消えちまった………
消えるはずがあるか！すでに昼間でしかも奈良市のすぐ近くなんだ人の目につくはずだ！
菊池彦……
説明してくれ こんなにまでして なぜ あの子どもをおうんだ！そんなに値うちのあるものなのか…
緒形！



よし 教えてやろう!
いいか 本当なら おれが 聖痕をうける はずだった!
アートマンにだ! このおれがだ!
おれの…いや 菊池一族の権利だ 当然……
権利? よしてくれ あんたにゃ 後継者に なる資格なんざ なかったのさ!
菊池彦! 武は どうやら 奈良駅から 京都行きの 列車に のったらしい
なにっ たしかか それは!?
ひとりでか? 餓鬼どもは!?
ああ それがな
べつに でかい木箱を ふたつも貨車に つみこんで いるんだ
ゴトン ゴトン


武は 京都でおりた
熱にうかされたみたいに歩いてる
荷をあけるようすはない どこかへ運ぶらしい
木箱ふたつを運送会社のトラックにつみかえました
あけさせるな あれを野放しにしたら手におえん
亀岡をすぎた! 丹波へむかうのか?
いや 西南へいく! 能勢山地のほうだ
そうだ! どうも妙見山へむかってるようだぞ
妙見山だと? 妙見というのも星の神のことだぞ!
うまく包囲しろ こんどこそにがさんぞ


ぼん ほんとに この道でいいんか？ いったい なに運んでるんや……？
このへんに 道祖神が ある？
道祖神？ よう知らん けど…… あるとしたら 旧道のほう やろな……
ほれ！ その上のほうや この切り通しが できるまえは この上を 旧道が 通っていて……
なんや この車 道をふさいで……
キィーーッ
バン！
バン


な　なんや
おまえら……
バシッ
そうだ！
その箱に
さわらせるな
それで　こわい
ものは　ない！
ザッ


菊池彦!!
武! 白鳥陵から なにを 掘りだしたんだ
およそ 察しは ついてるがな さあ だして もらおうか
やっぱ りな!
おれのと あわせて 「親魏倭王」…… ぴったりだ!
おっ!?
しぜんに ひとつに なって あわせ目が 消えた!?
ゴゴゴゴゴゴ

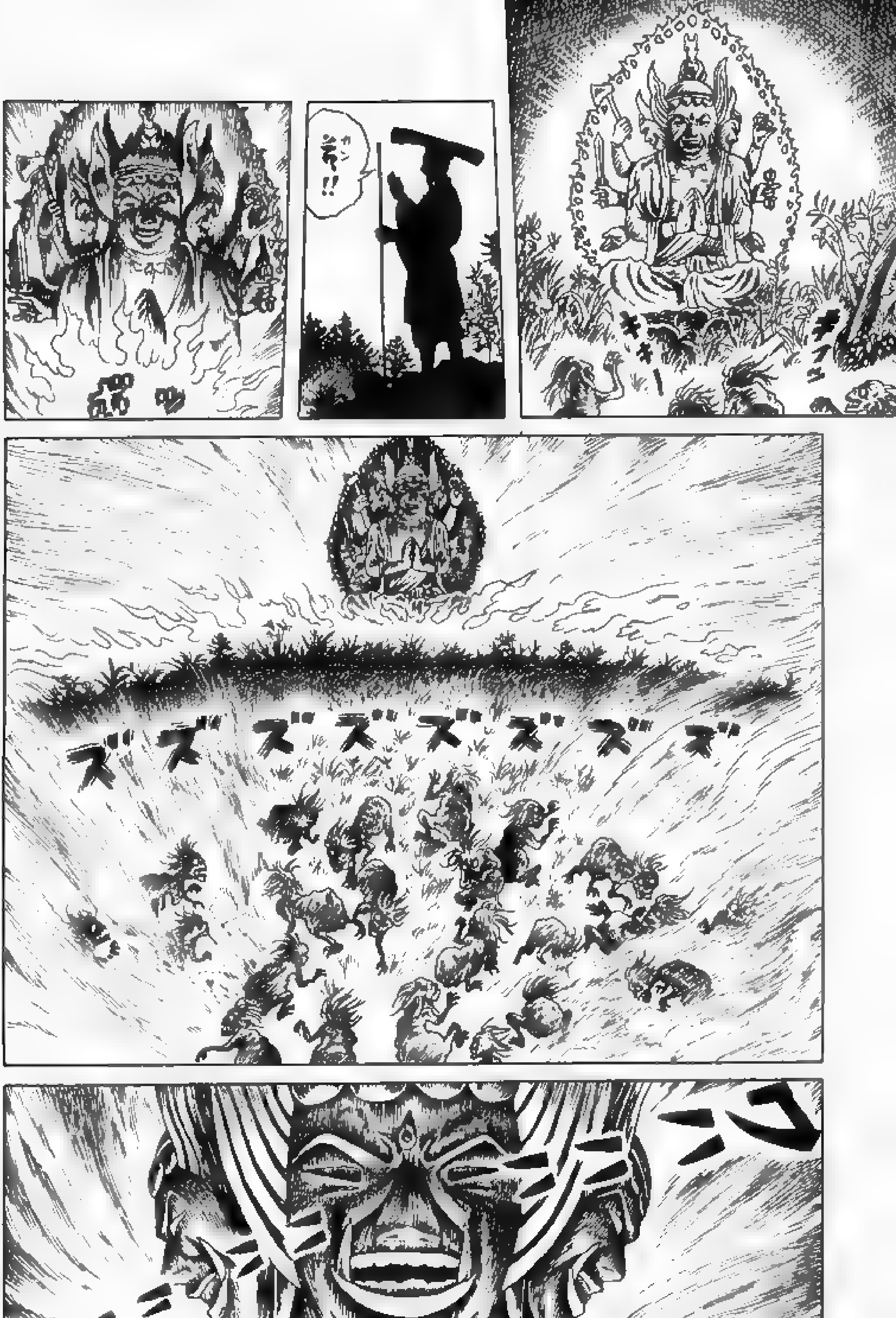


◆羅睺が地に降った神を道祖神という


か……怪物！
馬だ 石の馬だ!?
スサノオ！
スサノオだと!? これがスサノオの神像だと!?
おそれるな ただの岩の作り物だ！ なにもしやせん！
ガタ
ガタ
ガタ
金印は この神像をよびだすためのものだったのか……

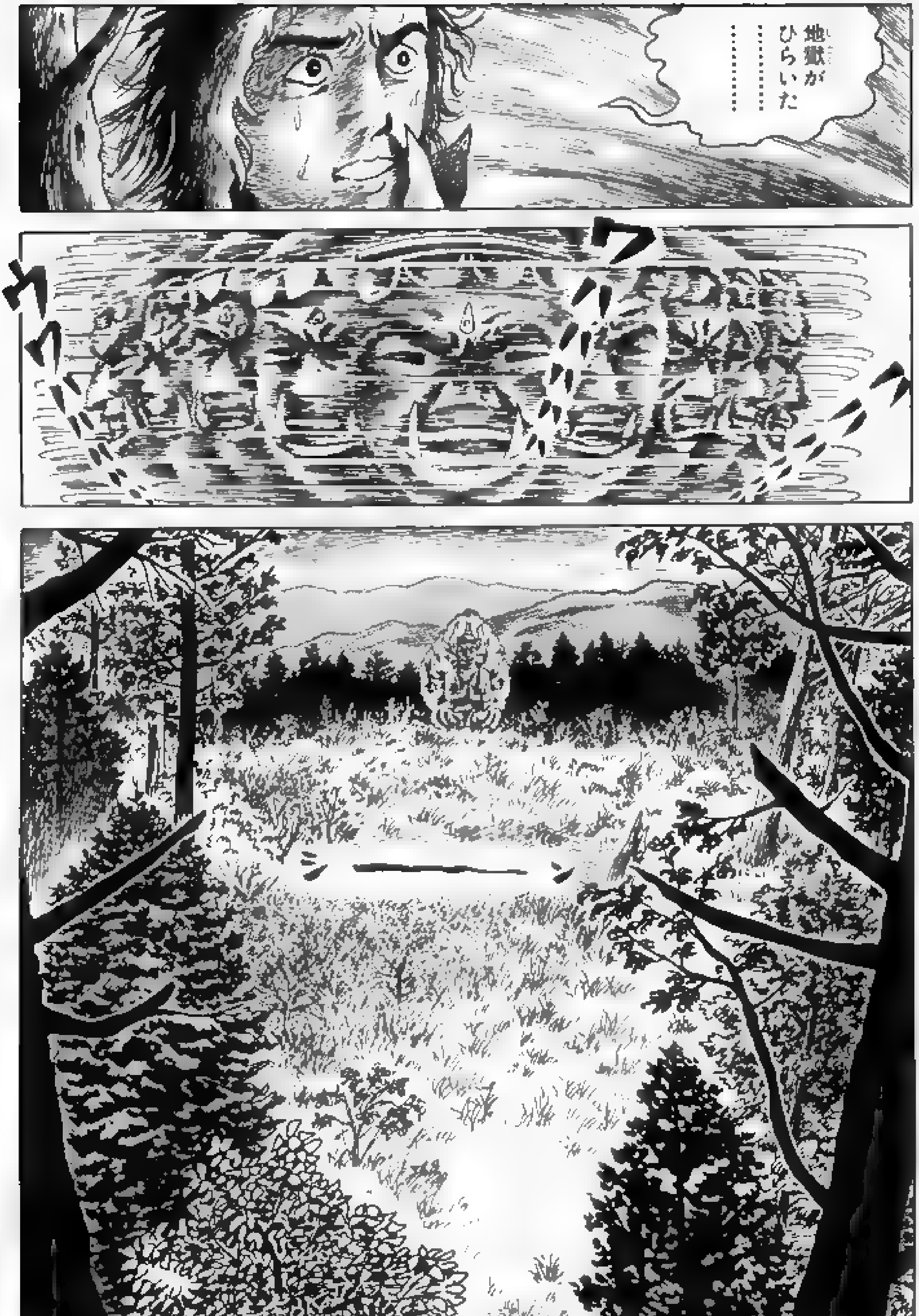

わーーっ!!
しまった!


ぎゃっ
うわあっ
カッ
パシ！
し……しまった
武がいない！
くっ！
にげろ！
突いても切っても死なない連中だ
にげるんだ！
ハアハア
ハアハア
ハッ



ズズズズズズズズ


フーシャボ シリーアリイシャ バラ……カン！
ドドドドドドドッ


地獄がひらいた……
シ――ン


ジャラン
すんだか…… あとは ここに 新しい 施餓鬼寺を たてれば よし……
慈空阿闍梨か どうして ここが…
み仏の加護が ありましたのじゃ
まあ なんにしろ 助かった 礼をいう……
助かった…… はたしてそうかな…？
なに!?
最初 みた時から 思っとったが お前さんには 恐ろしい業があるな
まるで 地獄の業火を ひきずって 生きて おるようじゃ
坊主の説教を きいてるヒマはない 緒形 いくぞ


さても……人の心を救うは怨霊調伏よりもむずかしいことじゃ……


諏訪で右肩……ふっふ……
出雲で右ひざ……
邪馬台国では左足……


そして飛鳥
奈良 京都で
腰に みいっつ……
ふふふっ
これで 六つ
あとふたつ……
八つの蛇形の
聖痕……
これを持った者を
古代人はひどく
恐れ それが
八俣の大蛇とか
八頭の竜といった
伝説を生んだ……
八俣の大蛇……
すなわち 八つの聖痕を
もった人間が現れた
時……
暗黒神スサノオが……
石像などではない
本物のスサノオが
天空より 舞いおり……
地上に
おそるべき
破壊と死を
もたらす!

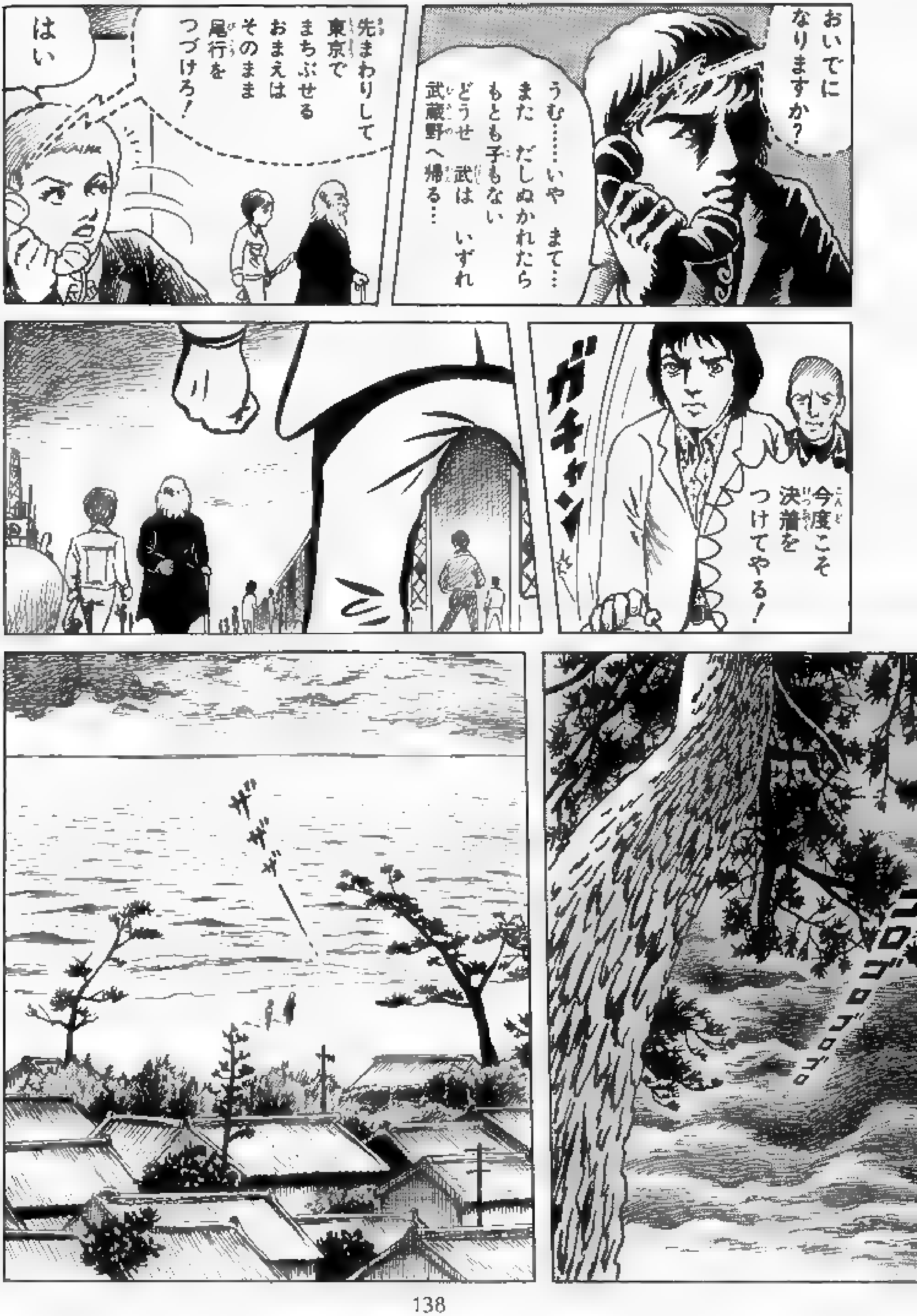
人間の章




神話によると
スサノオの命は
出雲に 天降りして
八俣の大蛇を 退治した時
その尾の中から
ひとふりの剣を 発見した
この天の叢雲の剣は
スサノオの命から天照大神に
献上され 伊勢神宮に収められた
これは古い出雲民族の神宝が
出雲を平定した大和朝廷の
手に渡ったことを意味する
この剣は後に伊勢の斎宮
ヤマトヒメからヤマトタケルに
ゆずられた
ヤマトタケルは景行天皇の
第三皇子小碓命である
父の天皇にうとまれて
十六の時に 九州の
クマソ征伐を命じられた
命はヤマトヒメから
賜った服を着て
童女の姿になって 単身
クマソの酒宴の席に忍びこみ
クマソの兄弟を刺し殺した
ヤマトタケルの名は その時
クマソから送られたのである


その帰路 命は出雲に立ち寄り
出雲建を誅殺している
だが 休む間もなく 今度は
東国平定を命じられる
尾張から駿河の国に
至った命は そこで
敵にあざむかれ 焼津の
野で 火をかけられた
その時 天の叢雲の剣で
草を切り払い
危機を脱したのである
その後 上総から阿豆麻
信濃等を巡って伊吹山に達し
山の神の祟りにあって落命する
その魂は白鳥となって飛び去り
その留まった所に御陵を作って
白鳥陵と名づけたという
スサノオの手から
後 ヤマトタケルの手に
わたったという…
それが 天の叢雲の剣
別名草薙の剣じゃ
聖痕も
あとふたつ…
お前の道も
あとわずかだ
この先は わしが
案内しよう
あんたは…
心配するな
わしは 菊池彦のように
邪心が あるのではない
ただ 事の成果を
みとどけるのが
仕事なのじゃ


もう一度
ブラフマンに
あう前に
いよいよ
最後の準備を
しなければ
ならん
次の聖地は
ヤマトタケル
ゆかりの地
焼津じゃ
王（日本武尊）「ほとほとに欺かえぬ」と のりたまひて ことごとに その賊衆を焚きて 滅したまひき 故 其処に号けて 焼津といふ （「日本書紀」）
ブーッ
ブーッ…
チン！
菊池彦さま？
なん度も連絡しようと
思ったんですが…
隼人か
ぶじだったか
今 どこだ？
ぶじ…と
いいますと？
菊池一族は
潰滅だ
おれと緒形と
お前だけだ
焼津？
ふん…
そうか
武と竹内
が……



おいでになりますか?
うむ……いや まて… また だしぬかれたら もとも子もない どうせ 武は いずれ 武蔵野へ帰る…
先まわりして東京でまちぶせる おまえはそのまま尾行をつづけろ!
はい
ガチャン
今度こそ決着をつけてやる!
ゴロゴロゴロゴロ
ザザザ



寄り神信仰と いってな……
伊豆や 駿河の 浜に 海のかなたから 寄りくる神の 信仰がある
ゴロゴロゴロ
うす暗く なってきたな それに 春雷に しても 早すぎる
ザアアァァァ
寄りくる神は 石に 依り着き そして 石は 祭られる……


まあ この祠の中をみるがいい
石だ 石の卵…？
お石さまとか神石とかいって ここの ご神体じゃ
静岡県とか中部地方では丸石の信仰が盛んじゃ なぜ 丸石を祭るのか…
そのもとの意味は忘れられてしまっても今でも神聖視されて こうして 信仰されておる
静岡県 敷島町の丸石道祖神
静岡市 白髭神社の霊石



ところで「日本霊異記」に 卵から
女が 生まれた話が のっている
かぐや姫も 元来は 竹からでなく
卵から生まれた話だったらしい
新羅の脱解王や高句麗の始祖伝説にも
卵生説話がある またヤマトタケルの子
武卵王の名も卵生説話の名残りでは
ないかという（谷川健一「古代史ノオト」）
みな
卵から現れた人間を
みた人びとが
伝えた伝説じゃ
みろ！
バカッ
こ…
これは
…!?
骨だけじゃ！
肉体は とけて保護液と
まじりあってしまっとる
失敗じゃ！


なんなの……これは？
古代 日本に なん度か恐ろしい異変があって多くの人が死んだことは話したな？ 縄文時代末期…… 諏訪の稚縄国…… 邪馬台国の滅亡……
その時 生きのびる方法が ふたつあった ひとつは 卑弥呼らの使った不老不死…
そして もうひとつは この石の卵…
タイムカプセルによる 人工冬眠の技術じゃった
これは もっとひどい 全身が バラバラじゃ カプセルの調整を まちがえたのか？
今となっては その原理が どんなものだったか 知りようが ないし…
この保護液の成分も はっきりとは わからん
あるいは 千六百年という時間は 長すぎたのかも……


ぜんぶ失敗じゃ 完全なカプセルは わしのだけじゃったか!
あんたの…!?
わしも この方法で 生きのびられた 数少ないひとりじゃ わしのカプセルは 飛鳥の岩船の 中にある
ゴロゴロゴロ
三百年以上 生きたと 伝えられている 武内宿禰とは わしのことじゃ
むろん そんなに 寿命が ある わけではない 間隔を おいて なん度も 世に 現れたから そう思われた だけなのじゃ
仁徳天皇の世(五世紀) 武内宿禰は 三百六十余歳で ふたつのクツを残して 消えてしまった その死体を みた者は だれもいないという ——「風土記逸文」
わしは 自分の 役目を知ったのじゃ 歴史の証人… 時として 神の言葉を 伝える者と なることじゃ
ザザザザザ


わしは 冬眠を くりかえして 生き 歴史の間を とびとびに あらゆる事を みてきた
卑弥呼に つかえ… 景行天皇に つかえ… 応神に つかえ ……
時には 蘇我馬子と 名のり また 安倍晴明とも 名のり……
百三十五歳 生きたと いわれる 天海僧正も わしじゃ
十年前にも 一度めざめて お前が 聖痕を うけたことを 知った それで お前が 成長する まで 待ったのじゃ
わしの力が いる時が あろうと思ってな…… ところが どうじゃ!
なんという 失敗だ!
いや…… だが これで いいのかもしれぬ
千六百年前の 人間を 現代に よみがえらせても……
あそこに 特に 大きいカプセルが あるけど…… あれは?
これか… どうした ものか ……



もし　これも
失敗なら……
あけんほうが
よいかも…
だれなの
これは…？
これはな
ヤマトタケルの
妃
弟橘姫の
カプセルじゃ
お前を　ここへ
つれてきたのも
この女性に
あわせたかった
からなのだが…
ぼくが
あけてみる…
おっ!?


おおっ生きておられた！
タ…ケ…ル…さま……
ヤ…マト………タケル………さま………
ヤマトタケル？ぼくが…!?
やはりヤマトタケルさまじゃったか！
わたし…です……弟橘……です……


ピカ！
わしは 景行天皇に つかえていたころ… お前と そっくりの若者に あった
その方は ヤマトタケルといい やはり 八つの蛇の 聖痕を もち その草薙の剣を 手にして おられた！
その方は わしに こう いわれた 自分は千数百年後に 復活して 再び このわしと あうだろうと……
わしは その日を まった 姫様もじゃ ヤマト タケル様に 今ひと目 あいたいがため……
タケル……さま わたしを…お忘れ ……で……すか…？


タ……
タケルさま！
ガターン
パリーン
ドロッ



タケルさま…
わ……わたし
は………
カッ
くっ……
くるなっ！
やはり　これも
不完全じゃった
か！
ガラガラガラガラガラン
タケル…
さ…ま…
……


くるなというんだっ！
ゴオオオッ
タケルさま……鏡を……


鏡をうけとれ！
はやく！
ゴオオオオ
天の叢雲の剣……
そうか
雲を　おこし　雨を
よぶ剣の意味か……


ザ
ザ
ザ
姫も あわれな お方じゃ……
弟橘なんて 知らない……
ほう…… ふしぎな雷じゃ ヤケドひとつしてない とは……いや！
左肩に 第七の しるしじゃ！
もう いやだ…… 家に 帰りたい ……
そう なりますわい 最後の聖痕を うける場所は 東京の 武蔵野ですからな…
草薙の剣… 鏡…… あと 玉が いる……
それで 三種の 神器が そろう
その玉は 武蔵野の あなた様の今の 家に ありますのじゃ
ザザ ザザ ァァァ

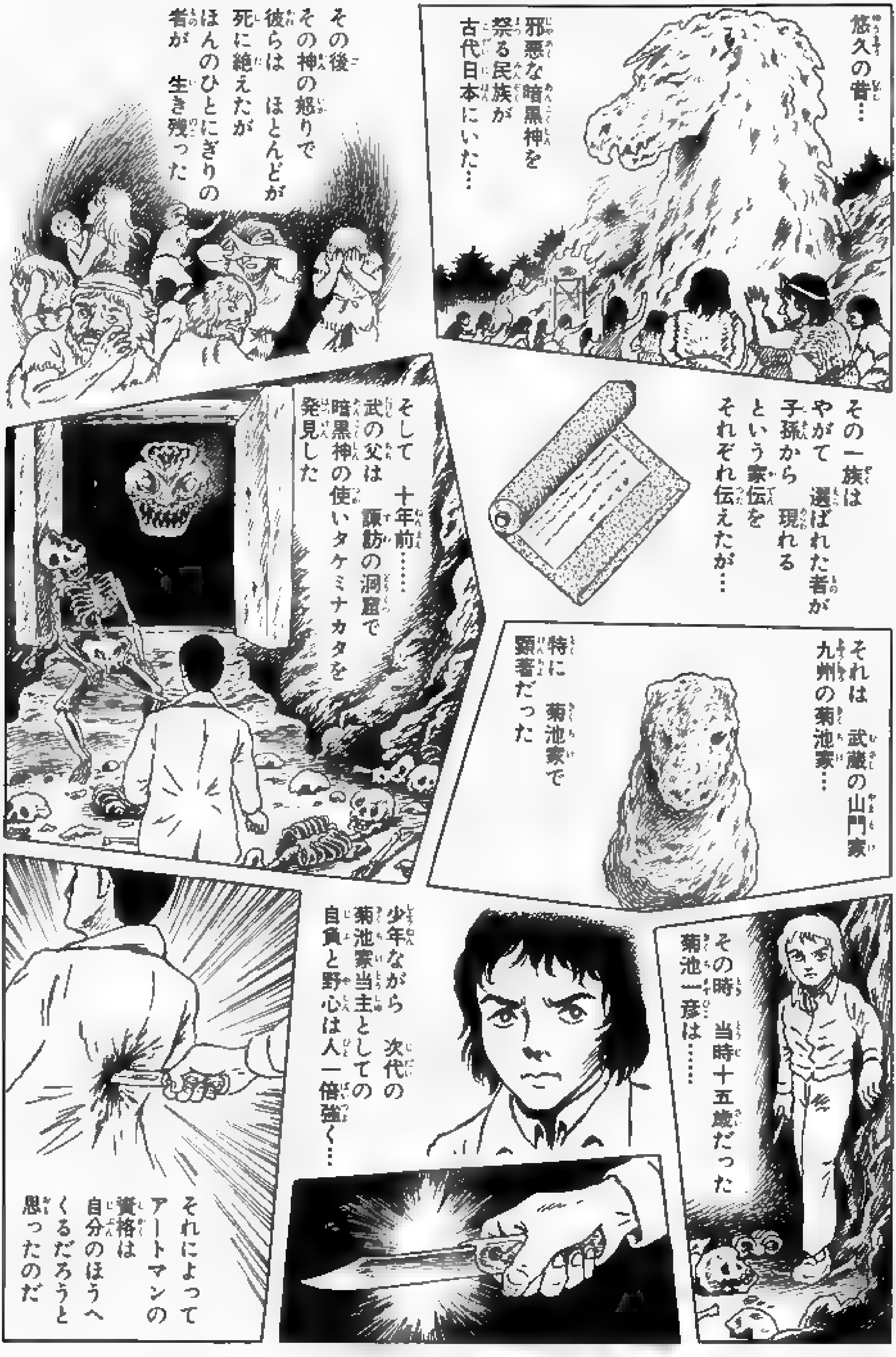

あなたの父方の山門家に代だい伝えられていましたのじゃ
リリリリリン
そして東京……武蔵野では雨は小雨になっていた……
もしもし
あ…!?
チン!
一彦!?
そうだよねえさん これから武が家に帰る
武……あの子が…
武蔵野でまちぶせるすぐ例のものをもって井ノ頭公園へきてくれ
まって一彦あの子をこれ以上……
ねえさん! 時がきたんだ!


お話し中
3分待ってもう一度
だれ……
武(たけし)……?


母さん……
カラ カラ…
だ だれだ… 菊池彦?
緒形二郎だ
緒形…… 菊池一族か?
たいしたもんだぜ 菊池彦は…
……?……
おれは おれだ もう 菊池彦の お先棒もち ではない
これからは おれの意志で 動く この神器とかいう 勾玉もな…
いや やつのおやじの 先代の時から そうだ ライバルの家系に娘… やつの姉を 嫁入りさせる くらいだからな

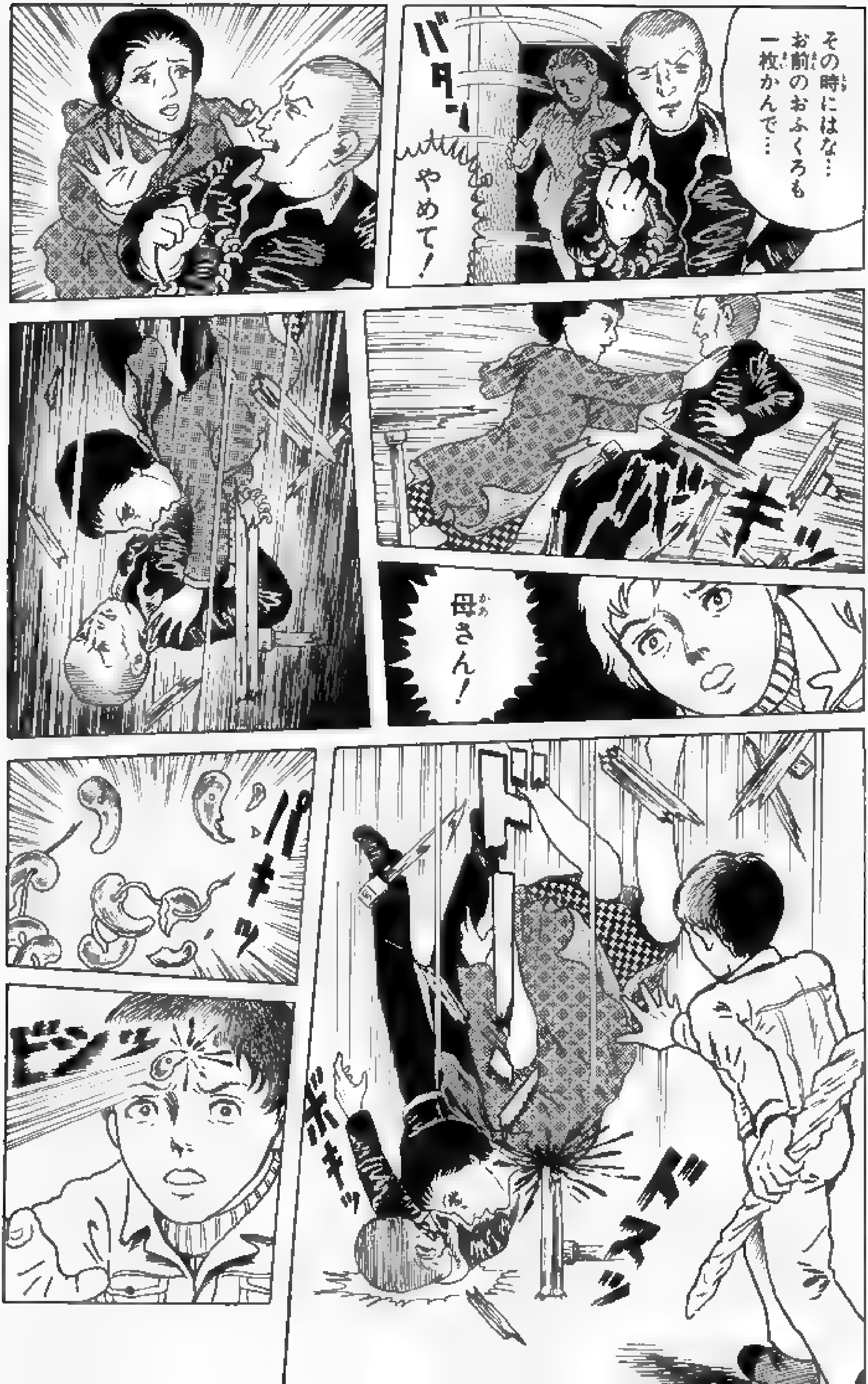


知らなかったか？ お前のおふくろと 菊池彦は きょうだいなんだぜ
ええ
……!?
あ……！ そういえば 母さんの旧姓は 菊池…!?
そうさ お前の家は 菊池家とは 別系統で 古代の血を ひいた 家柄だからさ ほら これを みろ
その右側に 写っているのが 菊池彦よ！
パサ
武 2歳
弟、一彦 14歳
この…… 顔は……
ザワ ザワ ザワ
アーン アーン
そうよ！ 十年前 お前のおやじを 殺したのは 菊池彦さ！
思い出した！ これは…… これは あの 時の……！



悠久の昔…
邪悪な暗黒神を祭る民族が古代日本にいた……
その後 その神の怒りで彼らは ほとんどが死に絶えたが ほんのひとにぎりの者が 生き残った
その一族は やがて 選ばれた者が子孫から 現れるという家伝を それぞれ伝えたが…
そして 十年前…… 武の父は 諏訪の洞窟で暗黒神の使いタケミナカタを発見した
それは 武蔵の山門家 九州の菊池家…
特に 菊池家で顕著だった
その時 菊池一彦は…… 当時十五歳だった
少年ながら 次代の菊池家当主としての自負と野心は人一倍強く……
それによって アートマンの資格は 自分のほうへくるだろうと思ったのだ


ところが 案に相違して
タケミナカタは
そばにいた三歳の武に
聖痕を 与えた
ザアアア
アア
〝選ばれた者〟は決定した！
もう やりなおしが
きかないことぐらい
若い一彦も 知っていた
菊池彦
だったのか！
それで わかった
彼の執念が……！


その時にはな…
お前のおふくろも
一枚かんで…
バタッ
やめて！
母さん！
パキッ
ボキッ
ドスッ



母さん……
き・く・ち
ひ・こ……!
ブラフマン
ぼくに
力をくれ
菊池彦を
殺せる
力を…!
おそい…!
カチッ
スサノオと馬頭観音と
羅喉が　同じものを
別べつの名前で　よんだ
ものだとすると……


この何かは太陽と月をともない……
あるいは支配し……
ガガ
天の斑駒 馬頭など馬が関係し時には馬の姿で また時には……
このような暗号でも示される
まさに暗号だ 八匹の蛇が武の八つの聖痕をあらわすのは わかるが……
この三つの顔は なんだ?
三つの顔…三つの巨石…三貴神…三種の神器……
そうだ 国東の庚申塔にも 馬頭神と三猿と日と月……
3…3…「3」は何をあらわすんだ?
隼人が いってたな 武は 飛鳥 奈良 京都で 三つ聖痕を うけたと…そして 焼津か!
焼津といえばヤマトタケルの東征か……
まてよ…武が これまで通った土地は まず 諏訪…出雲…九州…
大和……焼津……この武蔵野…
そしてヤマトタケルのクマソ征伐のルートが……


出雲
ヤマトタケル死す
諏訪
武蔵
焼津
大和
菊池郡
（クマソ）
フーム……
たどった順序こそ
ちがえ
武の通った土地を
ヤマトタケルも
全部通っている
……
ヤマトタケルの征・東征
ルート（「古事記」による）
武のルート
ピシャ
ピシャ
そして
武と
ヤマトタケルは
同じ運命を…？
ピシャ…
もしや
ヤマトタケルも
アートマンで…
ピシャ
ねえさん？
菊池彦！


ドス
バッ
バラッ
そ…そうか……
ヤマトタケルか……
しまった……！


聖痕が…
そろったのか……
三種の神器も……
その…しるし
……
おれが……
サー
サー
サー
菊池彦さま〜
菊池彦さま〜
どこですか〜
あっ


武……き…消えた……？
ああ…………!?
き…菊池彦さま…！



天(てん)の章(しょう)




ブラフマーン
ブラフマーン
ブラフマーン
ブラフマーン
ぼくはやってきたぞお
きたぞお
きたぞお
おしえろ
ぼくの運命とやらをおしえろ——
おしえろー
おしえろー
おしえろー


よくきた
ヤマト
タケル
ぼくは　ヤマト
タケルなんか
じゃないぞ！


おまえは
ヤマトタケルであり
アートマンである
おまえと
ヤマトタケルは
別べつの時空間に
同時に 存在する
同じひとりの人間である
そんなことが…
おまえは
八つの聖痕をうけ
わが存在に
よびかけ
そして
ここへきた！
くるがいい！
今こそ すべての
秘密を あかし
スサノオに
あわせよう！


見るがいい! あれが お前に あたえられた力 スサノオだ!
あれが… ま まさか あれは… ……!?


菊池彦さま……
菊池……
だ だめだ…
もう 死んでる…
ヤマトタケルは
女にばけて
クマソを 殺す…
ふっふ
神話の通りじゃ
菊池彦は 死んだし
菊池一族も 潰滅した…
この上 お前ひとりで 何を
しようというのだ 隼人…
し……
知りたい!


せ…せめて知りたいんだ！
菊池彦さまも 緒形も 大神も… いったい 何をもとめ なんのために 命を おとしたのか…！
アートマンって… スサノオって なんだ？ あんたは 知ってるのか？ 武は どこへ いったんだ!?
いいだろう 教えよう
「参は 猛悪にして 血を 好み 羅睺は 災害を よぶ」 この宿曜経の 言葉に すべての 秘密がある！
武が うけた聖痕は 武蔵野が額 諏訪で右肩 焼津で左肩 京都 奈良 飛鳥で 腰に三つ 出雲で 右ひざ そして国東で左足首…
それは そのまま 地図の上に ぴったり あて はまる！
この八つの 地点を 結んで 何か 気づかんかね？
ふふふ…… わからんか？


ほれ！オリオン座に似とらんかね？参とは 古代オリオンの三つ星をさす言葉じゃ
古代の大和に栄えた都が 三つあったじゃろう
藤原京(飛鳥) 平城京(奈良) 平安京(京都)…
これらは オリオンの三つ星をかたどって造営されたのじゃ！
数の暗号はほかにもある
馬頭観音の三つの顔と八本の腕…
竹原古墳のすぐ近くに三つの巨石があったのも偶然ではない
宇佐神宮の奥宮にも三つの巨石があるといわれる
神社によく使われる三つ巴も三つ星を表現したものじゃ
密教の宿曜経は インド起源の占星術であり 空海 円仁 円珍らによって日本に もたらされた 全天の星座を二十八宿にわけ そのうち 参宿(オリオン)は 悪害 猛悪の性格をもつとされる
参
これらの星を祭ることを星供というが その時 参に そなえる食品は 血であるという


「古事記」には　イザナギは
三貴神を　生むに　先だって
底筒之男　中筒之男　上筒之男
という三神を生んだが　これは
オリオンの三つ星をさすという
（岩波文庫「古事記」校注）
神話の時代に　まず　オリオン
つづいて　アマテラス（太陽）と
ツクヨミ（月）が生まれた
のじゃから……
いっしょに　生まれた
スサノオも　何かの
天体現象だと　わかるじゃろう
京都近くの
山中に現れた
スサノオ像…
オリオンで
いえば
アルニターの
すぐ近くじゃな
その位置には
……
例の有名な
"馬の首"暗黒星雲が
あるのじゃ！
また羅睺は　同じく
宿曜経の九曜のうちの
ひとつであるが
その正体は　不明で
経典でも　はっきり
記されていない
羅睺星
しかし　一説では暗黒星
で　日月の光をさえぎり
ふだんはかくれているが
あらわれると災害がある
とされる凶星である
（吉田光邦「星の宗教」）




これだったのか……すべて　これだったのか!?
竹原古墳の神馬…
国東の馬頭観音…
天の斑駒…
宇佐伝説の竜駒…転輪聖王の乗馬！
京都付近のスサノオ石像
その通り！
見よ！
お前が近づいたので急激に活動をはじめた
この暗黒星雲は生きているのだ！



い…生きて…？
二千年以上昔―― 暗黒星雲は 地球のすぐそばにいたのだ どのようなことがおこるか わかるか？
太陽を さえぎり… いや 太陽そのものが すっぽり 暗黒物質にのみこまれ
さらに 接近した時には 月までが おおわれ…
その巨大な質量の引力は 自然のバランスを くずし 大津波を おこし
暗黒と寒さの中で 大暴風雨が なん日も あれ狂った
それは 古代 なん度か 周期的に 地球に接近し そのつど ありとあらゆる 災害を ひきおこし 多くの人や動物が死んだ


スサノオの命は青山を枯らし大地をゆり動かして
天にのぼる　そして高天ヶ原に侵入して　田畑を
あらし　家を　こわして　乱暴の限りをつくす
（これを「天ッ罪」――宇宙秩序を破壊する罪とよぶ）
ついには　アマテラスのいる機屋の中に
天の斑駒の生皮をはいで投げこんだので
（この馬はスサノオ自身だ）
アマテラス（太陽）は　天の岩戸にかくれ
地上は　暗黒に　おおわれ　夜ばかりが　なん日もつづいて　万のわざわいが　おこったと　「古事記」にある
これが「天の岩戸」伝説として　知られている　古代の大事件…
暗黒星雲が　地球を襲った　大天変地異を　神話で　表現　したものじゃ
その　なん度目かの異変のうち　もっとも大きなもののため　諏訪盆地を　はじめ　古代縄文人は　ほとんど　死に絶えた
諏訪の尖石で　発掘された石板の太陽に×印を　つけた絵は　この大異変を　あらわしたものじゃ


また 邪馬台国の女王卑弥呼は
金印の呪力で スサノオを 支配しようとしたが……
それは 暗黒神を あれ狂わせ
邪馬台国の滅亡を まねいただけだった
しょせん アートマンでなければ
金印を使いこなすことはできんのだ
それはかりではない
アートマンは暗黒星雲を
自由に あやつることができる
あたかも転輪聖王の乗馬のごとくな……
そのため 体に八匹の蛇の聖痕をもつアートマンは
時には八俣の大蛇のような怪物として恐れられ
時には 神馬に乗った転輪聖王や英雄として崇められ
時には 人びとを 救う仏陀として 尊敬された
仏陀!?
釈迦も むろんアートマンじゃ
釈迦に 説法をすすめたのは
梵天(ブラフマン)じゃと仏伝にある


中国の玄奘が 釈迦の生誕地を 訪ねた時 アショーカ王が たてた 馬の石像が あったと伝えている
さらに 釈迦のあと アートマンとなり 世界の 運命を 決定する者として 弥勒が 予定されているというが……
おっと いそがねば…… おまえも いっしょに くるか？
えっ…… どこへ ……？
比叡山じゃ オリオンが 空にある うちに つきたい……
もっとも もう 武の 運命を 知ることは できんかも しれんが……
釈迦から弥勒にいたる アートマンの系譜に ヤマトタケル お前が 現れたのが 地球時間で 千六百年前
そして お前は 暗黒星雲を ここまで遠ざけて 地球を救い 別の時空間で もう一度 われに あうことを 約束した！



時はきた！
さあ！決断を下す時だ！
お前とともにこの暗黒星雲は宇宙のどこへでもゆくであろう
地球というちっぽけな星の支配者におさまるか……
あるいは地球を遠くはなれて宇宙の秘密の一部をのぞいてみるか
時間も空間もお前の前にひらかれるであろう
さもなくばさらに偉大でさらに恐ろしい運命におもむくことにもなる
お前の意志ひとつだ！
わからない
わからない！なぜそんな必要があるんだ ぼくにどうしろというんだ!?
ぼくがよびかけたのはただ菊池慈がにくかったからだ
ブラフマン！ぼくにこんなものをおしつけるな！


まだ わからぬか! われ ブラフマンとは 命令する者ではなく 永遠に 存在する 原理であり 力であり 宇宙そのものなのだ!
決定するのは お前なのだ お前は 力を求めて 力を得た!
もはや あともどりは できぬ お前は すでに 宇宙の歯車の ひとつなのだ
ぼ…… ぼくは…
ぼくは 地球へ 帰りたい… でも…でも…… そうしたら 地球は…?
わからない… ……! ぼくは… ぼくは…


思ったより　はやく
比叡山に　ついたな…
ところで……
おお　そうじゃ
馬の信仰の話じゃったな
馬は　世界中で
古くから　神聖視
されておったらしい
インドでは
馬祀祭といって…
転輪聖王により
馬が　天空神に
捧げられて
おったし…
ギリシアでは
太陽に
捧げられた
日本でも　馬の
奉献は　古くから
あった……
日蝕や　日乞
雨乞などの
祈願には
とくにな…
のちには
生きた馬の
かわりに
埴輪や
絵馬で
代用する
ように
なったが…
地方によっては
星祭りである
七夕に　ワラで
作った馬を
供える所も
ある
やはり　星の
神を　祭った
妙見社は　馬の
守護神とも
されとる
エリアーデという
学者は　馬は
宇宙と同一視
されていたとまで
いっとるんじゃ…
慈空上人!



これは ご老人… 急に 叡山に おこしとは ……?
おとぼけを… 上人
天台の秘法…… 見せていただけるでしょうな? 今夜が アートマンの運命を 知れる最後のチャンスですぞ
お見通しですな… では こちらへ…
鎮護國家
「尽天地は 一軸の経巻」 …… わかるかね? 曼荼羅は 宇宙の 本質を 仏の姿で あらわした 密教の奥義じゃ
胎蔵界曼荼羅は 空間の構造と原理を…
金剛界曼荼羅は 時間理論の秘密を 神秘的な図法で完全に ときあかしたものじゃ……

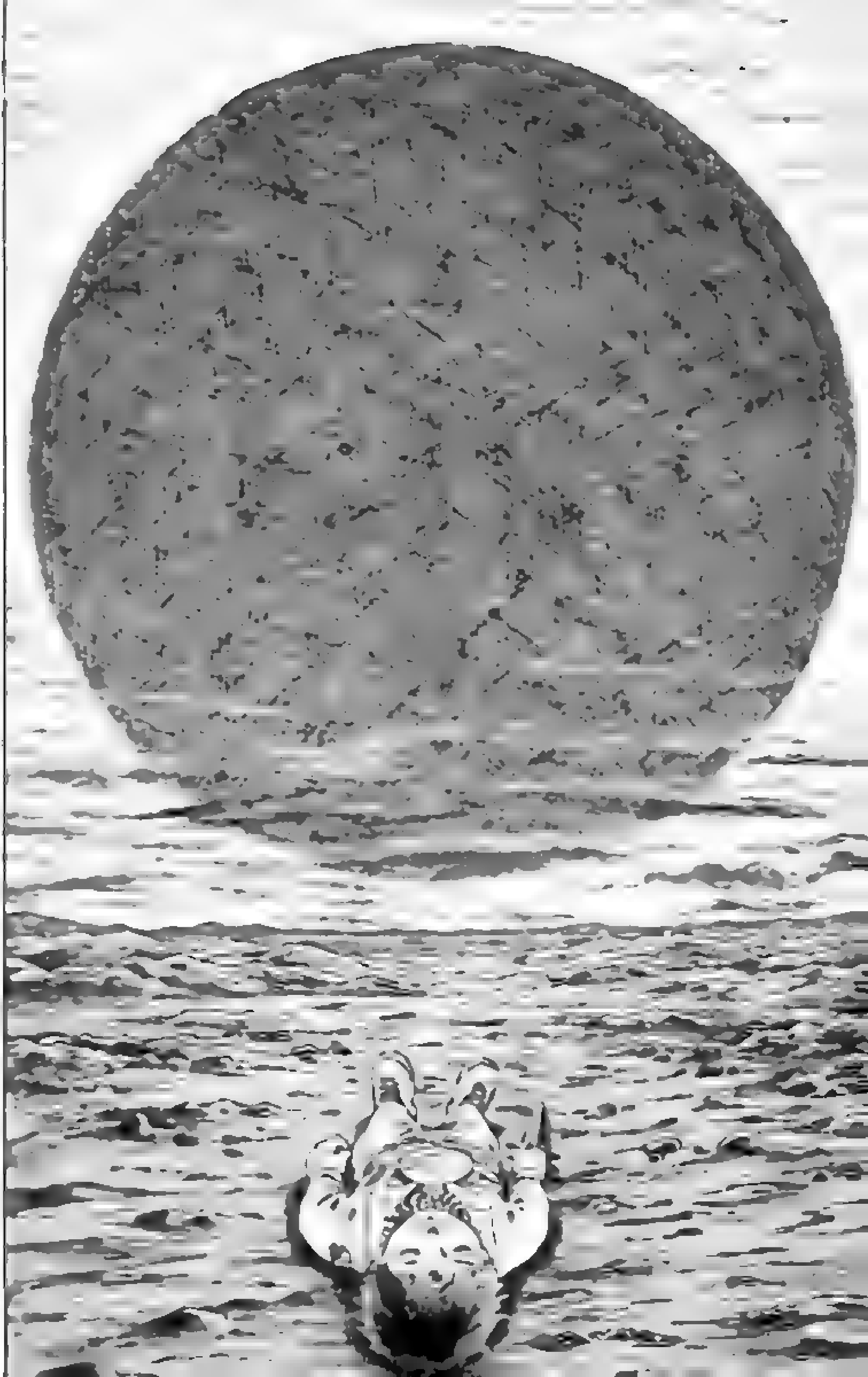


オン マカーソ キャ バザラ
あっ…!?
胎蔵界曼荼羅の中央の大日如来が光り出した…!?
ボオオッ
あっ!?


ち ちがう！ 天体写真でみたことのある馬頭星雲と…
あたりまえじゃ 馬頭星雲は地球から千光年もはなれとる
地球からは だれもみることのできん今 この時空間での宇宙の神秘を わしらはのぞきみておるのじゃ！
星雲のあちこちに光が！ 暗黒物質ばかりで 星はないはずなのに!?
武が 接近したため星雲は急速に収縮しはじめ核反応をおこしておるのじゃ
星雲は ふつうこまかいチリや 水素原子が集まったもので実際には 真空に近いほど まばらなのだが…
これが無数に集まって収縮をはじめると中心に重力を生じ核反応をおこして光りだす
これが 星の誕生だ 恒星も惑星も もともとこうして できたものだが…


この馬頭星雲に関しては それだけではないようじゃ こいつは 巨大な生物だとか きいた……
自分で おこした核反応エネルギーで活動するのかもしれん……
ま…まるで天の斑駒だ!
どうなるんだ! これから…!?
武は まよって おるな!?
まっすぐ地球へむかってくるのかもしれんぞ! これは…!
いや…… わからない とまった? …いや!
むっ い いかん…


ズバッ
オリオンの かなたを のぞいた などは わしにしても はじめてのこと… やはり不遜じゃったか…
暗黒星雲は 地球に むかってくるとも 急に 動きを とめたとも みえたが……
それから どう なったのじゃろう?
いずれにせよ もう オリオンの沈む時間 じゃが……
曼荼羅が… まだ光ってる…
まっぷたつになった曼荼羅の一部 には まだ光の余韻が残っていたが
オリオンが 西の空に 沈むとともに
それも消えた……





……ぼくは どうしちまったんだ……
まっ赤な巨大な太陽…… あれはてた大地…… ここは 地球じゃないのか ……?
あの時……
地球には 帰りたかった… でも……でも……
それでは 地球は ……人類は…… 絶滅してしまう かもしれない……
でも ぼくは……
フラ…
ぼくは …… ああ ぼくは わからなくなって ……
ハッ
あそこで 何か 動いたぞ!
おーーい
ギクッ


キキィッ
キ…!
ギィィ…
あ……
あ……
あ……!
ここは やっぱり
地獄なのか……?


そうだ
なにか 天文学の
本で 読んだぞ
太陽の寿命は
約百億年だが……
老年期に なると
膨張して
赤色巨星になると……
ここは
地球の
未来なの
か………
だとすると どのくらい
未来なんだろう……
太陽が あんなに
大きくなるには…
まさか……
五 六十億年
たって
いるんじゃ
……?
ぼくは 望み通り
地球に もどった…
世界を滅ぼす
こともなく……?
東の空から
なにか
のぼって
くる………


再び
飛鳥――
岩船


いっちまうのか? 竹内さん…
もう この時代で わしのすることは あるまいからな こんどは百年くらい眠ってみるか…
もう お前とも あうことは あるまい ヤマトタケル様とも 二度と……
もうひとつだけ 教えてくれ 武は どうなったんだろう?
わからん…… だれにも わからん……
たとえ 馬頭星雲が 地球へ むかって くるにしても 地球からは あまりに 遠すぎる……
地球へくるには はやくとも 数百年から千年は かかろうし… あるいは なん万年も なん億年も かかるかも しれん………
なん億年…?
あの時 曼荼羅の中の ひとつの仏だけが いつまでも 光っておったろう あれは 弥勒じゃ
弥勒!?
もうひとつだけ いおう ヤマトタケル様は 神話では 死後 白鳥となって 西の空へ とびさったという
西とはどこか? 西方にあり 待機しているという 弥勒が 兜率天かもしれん


弥勒……
五十六億七千万年後に現れて 世を救うという弥勒………
だれにもわからんことじゃ……わしとてもそこまでは生きながらえんじゃろうからな……
わしは ただ可能なかぎり歴史を みつめつづけていくことだけが……
バクン…!
もうだれもいない……菊池彦さまも……
竹内老人も大神も鞘形も…
武も……
ああ…飛鳥に日が 昇る……



暗黒神話▶完◀

徐福伝説




ドドドド
精衛!精衛!
精衛——!
ドドドドド



※方士：神通力をもち、人間ばなれした術や技を使える人。



※斉：現在の山東省あたりにあった国で、渤海・黄海に面していた。

徐福伝説

それは『史記』によれば
始皇二十八年のこととされている
徐福と子どもたちの
その後の運命は　定かでない
数年たっても神薬を得られなかったとも
平原と広沢を得て　その地の王となり
ふたたび　かえらなかったともいう



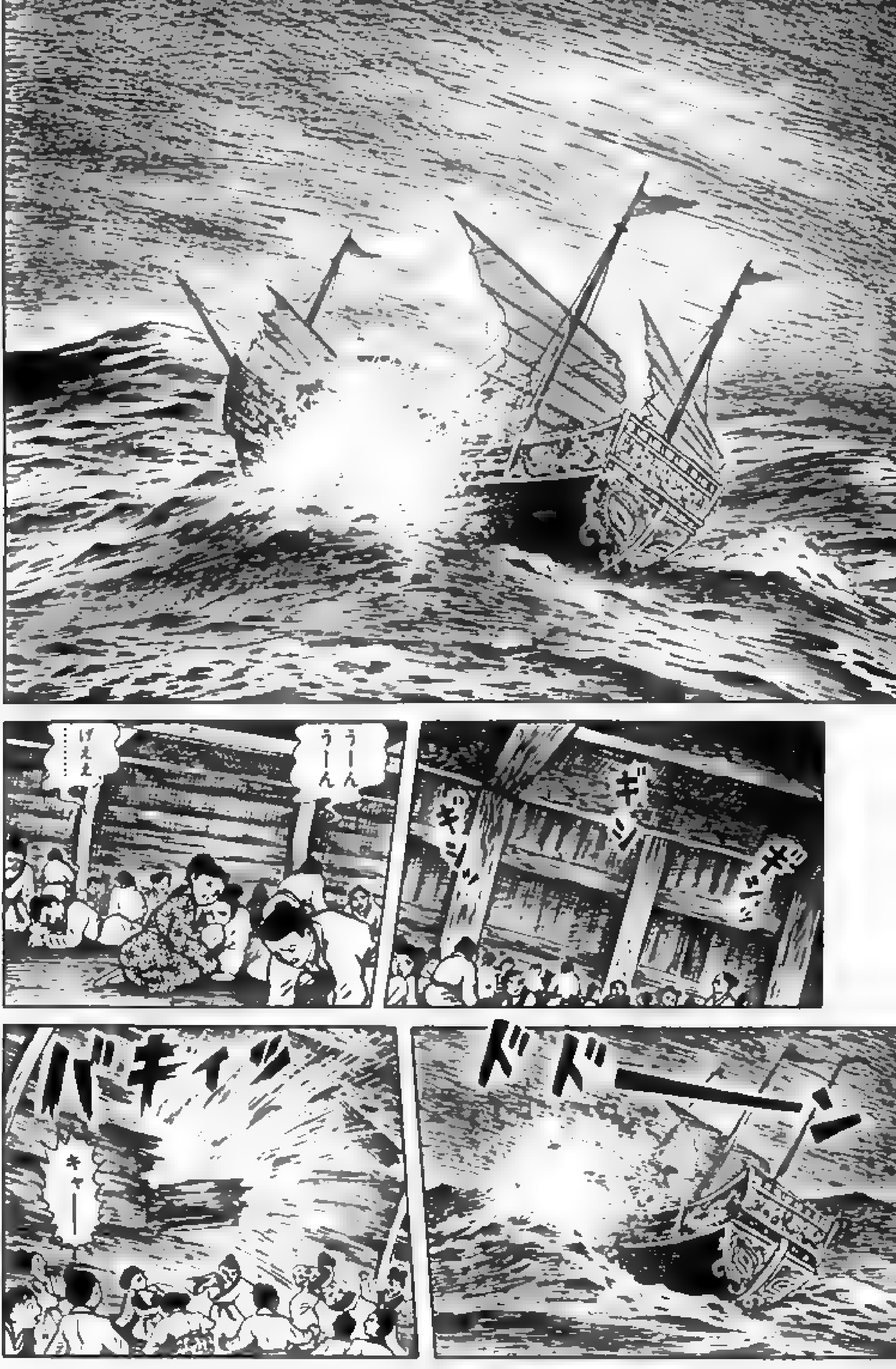

ギギギギー
ギギギー
クスン クスン
きみ……
ね きみ
そんなに泣かないで
だいじょうぶ
心配ないから……


ぼくは韻青っていうんだ
とうさんは咸陽(秦の首都)の儒学者だったけど秦の皇帝を非難した罪で坑にされてしまったんだ
わたしは精衛…… 徐福さまの家来にむりやりさらわれてきたのよ 家には かあさんが ひとりきりで……
よう おまえ こっちへこいよ おれは陽豹だ
そんなやつ ほっといて おれと話そうぜ
あっ
よせよ いやがってるだろう!!
おまえは ひっこんでな!
なにっ
静かにしろ! 徐福さまのおいでだ!
バタン



※東夷：古代中国では、東の日本や朝鮮の異民族を、こう呼んだ。


徐福さま 子どもたちが 女の子を あらそって ケンカです 先が 思い やられますな
監督を厳重にしろ それぞれの相手は わしがきめる
易の秘法に したがって厳密に きめねば ならんのだ
そういえば あの 九十二人の子どもたちも 中国中から 厳密に えらびだしたのでしたね 不老不死の秘密と 関係があるのですか?
ある! 人間の 体内の[redacted]十六の[redacted]子…… その特別な因子を ひとつずつもった 子どもを わしは さがし だしたのだ 永遠への 扉をひらくためにな!
だが あなたさまは その扉を発見しても 皇帝さまのために もちかえるつもりは ない……
さっしがいいな 盧生 だが おまえにも わしのほんとうの 目的は わかる まいよ……


ギシッ
ギシ
ギシッ
うーん うーん
げええ……
ドドーン
バキィッ
キャー


穴をふさげ 穴を! おまえたちも てつだえ!
しっかり! 精衛
ああ 顔青……
こっちへ…… ここなら 水がこない
コトン
ハッ
サッ
うわさを きいた?
うわさ? なんの?
ギー
ギ…ギ
わたしたちの結婚する 相手は 徐福さまが 易の 占いできめるって……
わたしは…… できれば顔青と……
いいわ なにか事情が あるのね
ぼくも…… 短剣のこと だまっていて くれる?
そこ なにをしとる! 水をくみだす のを てつだえ! 船が沈むぞ!


ドドドドドッ
ガタン
これでは 易が おこなえぬ…
ギギギーッ
殷代からつたわる祭器には みな この渦巻文が きざんである………
そして韓の漁師から きいた話だと蓬莱にも おなじ模様の土器があり
それを よめるもの たちがいるという……
周の時代に すでに うしなわれてしまった 秘密が東夷の島国には まだあるのだ……
ギギイイ～～
ドドドドドド

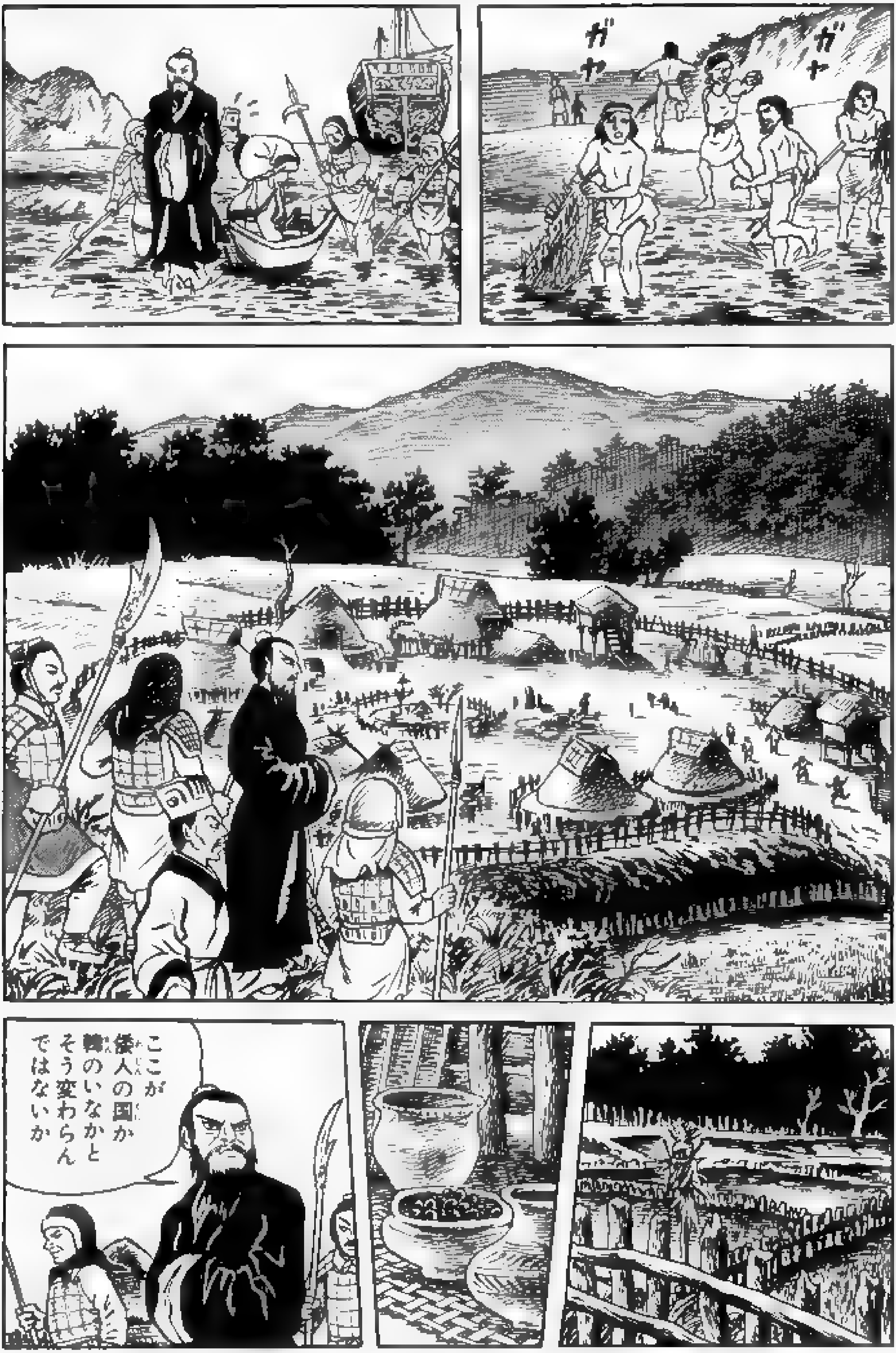

陸だ！陸がみえる
蓬莱だ 蓬莱についたんだ
ザザザー
ザザザー
あっ徐福さま…
ハッ



徐福めやっと船室からでてきたか…
どうしたの顔青
あ いや…なんでもない
顔青……
なにをしておる！ふたりともはなれろ！
まったくなんというざまだ畜生！こんなかってなことをゆるしておったのか!?
あ いえあの…
みんなも よくきいておけ！われわれはどうやら倭人の国についたがここが最終の目的地ではない！
いずれ そこへついてからそれぞれ結婚する相手がいまやっときまったよく心にとめておけ！


張湯には
桑舒
李賜政には
無采
黄陶には
无穫
季宋には
篆垓……
……
ザワ
ザワ
ザワ
陽豹には
精衛！
顔青には
宛若！
―以上だ！
この組合せは
徐福さまの
易によるもの
いわば
天の決定だ
不満は
ゆるさん！
ガヤ
ガヤ
もうすぐ
上陸だ
準備を
しろ！
きいたか
顔青
ざんねん
だったな
ええ!?
ドッ


ザザザザザ
ここが蓬莱？ 芝の園も 金銀の宮殿も ありゃしない じゃないか
あっ 人だ 人がいる！

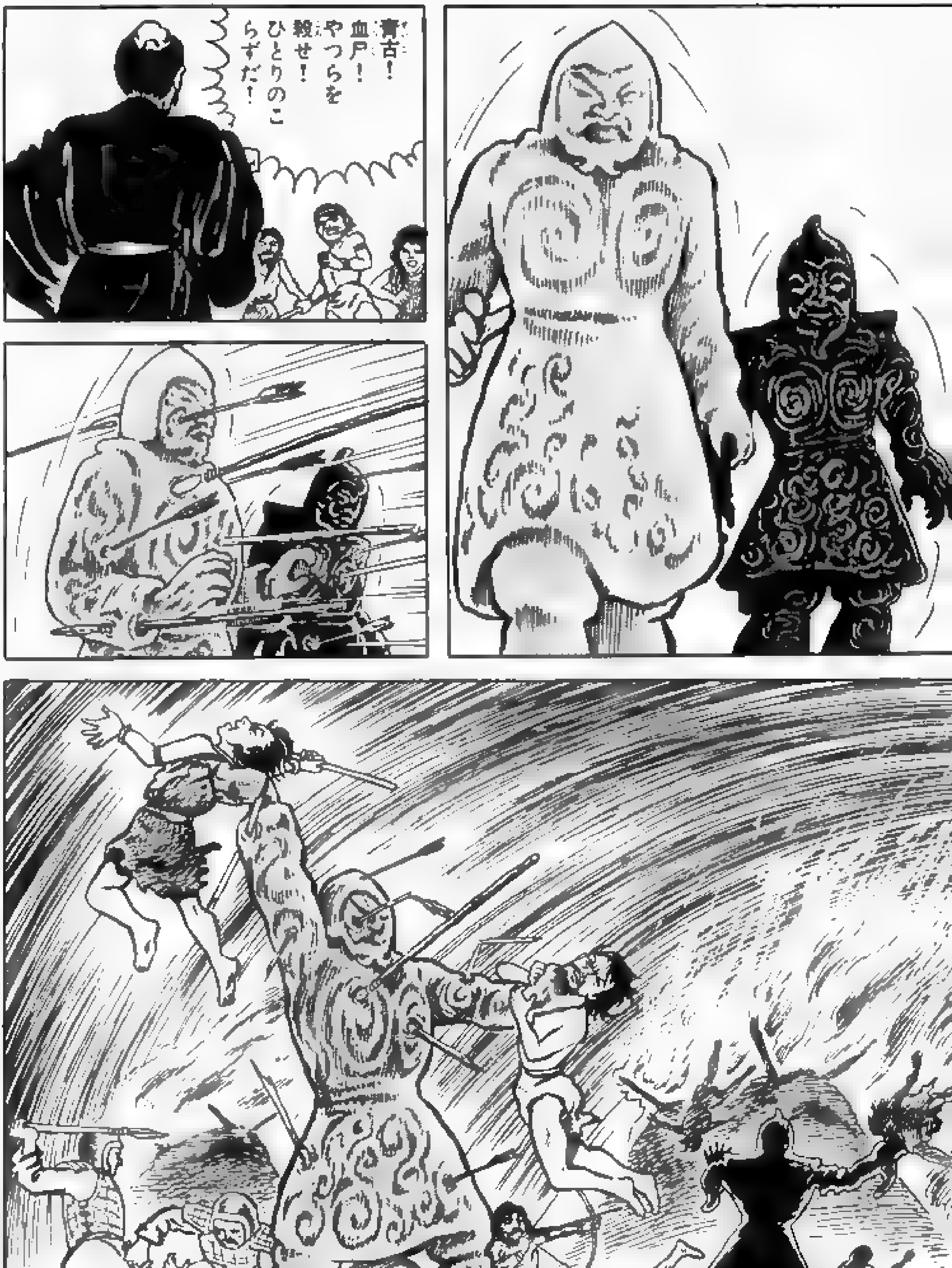

ガヤ
ガヤ
ここが
倭人の国か
韓のいなかと
そう変わらん
ではないか


老人
わしは古い記録で 東方に倭人の国が あるということを しったし そこへ いった 韓の漁師から この土器を 手にいれた……
ここには こういう ものが たくさん あるという ことだが しらぬか?
これは… ずいぶん 古い土器で ございますな わたしどもは もう こういう ものはつかって おりません
このように 田をつくり 平野に家を たてて 住むように なりましてから 古いものも 習慣も わすれられて しまいました
ただ 山奥には そういう時代おくれの 土器をつかい 古い 土人形をおがんでいる 野蛮な連中がいると いうことですが…


キキー
キャー
キャアァ
じょ……徐福さま……
キアエエエー
キャウアー


徐榮らは少数だ もしやつが生きのこっても この山道で……


ボワァン
プチ
青古!!
血尸!!



青古！血戸！やつらを殺せ！ひとりのこらずだ！


ドドドドッ
だ だめだ
化物だ
やつは……
ガシャン
わしが
もとめていた
ものは こんな
ものじゃない!
こんな形ばかりの……
退化した安物……
……くそ!


わかぞう!
死にたくはあるまい
わしは こういう
土器や土偶を
さがしている
もっと古い
精巧な昔の
ものをな…
山の村は
ここだけでは
あるまい!?
あ ある
で でも 古い土器
なんてしらない
平野で草を植えて
いる連中が みんな
こわしてしまった…
ま
まってくれ
もっと東…
東のほうには
そういう
ものが
ある!
古い文化の……
で でも
おそろしい
力をもった
一族が
いると……
東…だと……?
コン
コンコン
カーン
カーン


徐福さまは船を修理してどこまでいくんだろう
倭人からずいぶん食料もかいこんだらしいよ
精衛！
監視がうるさくて…やっと　ぬけだしてきた
ね　顔青　にげましょう
えっ!?
陽狗はきらい　乱暴で……
この国でも田や畑をつくっているし異国人にも親切だわ
どこかへにげてふたりで…
精衛　そうしたい…でも…
でも　いまはだめだ　することがある　船からはなれるわけにはいかないんだ…


伝説によれば
徐福は　中国を出帆して
北九州につき
それから熊野へ
たどりついたという
あるいは富士の山麓に
漂着し　そこに
住みついたともいう
この時代――日本ではようやく
弥生文化が定着しつつある
ときであった
だが　それは西から
順次　波及したのであり
東へいくほど縄文文化の
伝統が強くのこっていた
徐福は
弥生文化の進んだ
北九州・近畿から
縄文文化の
のこっている
東海へと
むかったのである


混蛋！
ワァ
ワァ
他妈的！
打架，打架
ワァ
顔青 やめて…… 陽豹！
ええい どけ どけ！
おまえたちにも こまったものだ おまえたち には わしの 大いなる目的が わからぬ……
わたしは命令を まもっております この顔青が わたしの精衛に……
青 おまえは わしが 無意味に おまえたちの 相手をきめたと思うのか？ それとも 皇帝の不老不死の ために 犠牲にされるとでも 思っているのか？
不老不死と いうもの 薬をのんだり 修業をしたり して手にはいる ものではない
チャンスだ 兵どもはいないし あとは この陽豹さえ……
いずれ その日がくれば わしに感謝する ことになろう もういい ふたりともいけ


徐福さま あぶない!!



※焚書坑儒：始皇帝が儒学の本を焼き、儒学者を生き埋めにして殺したこと。

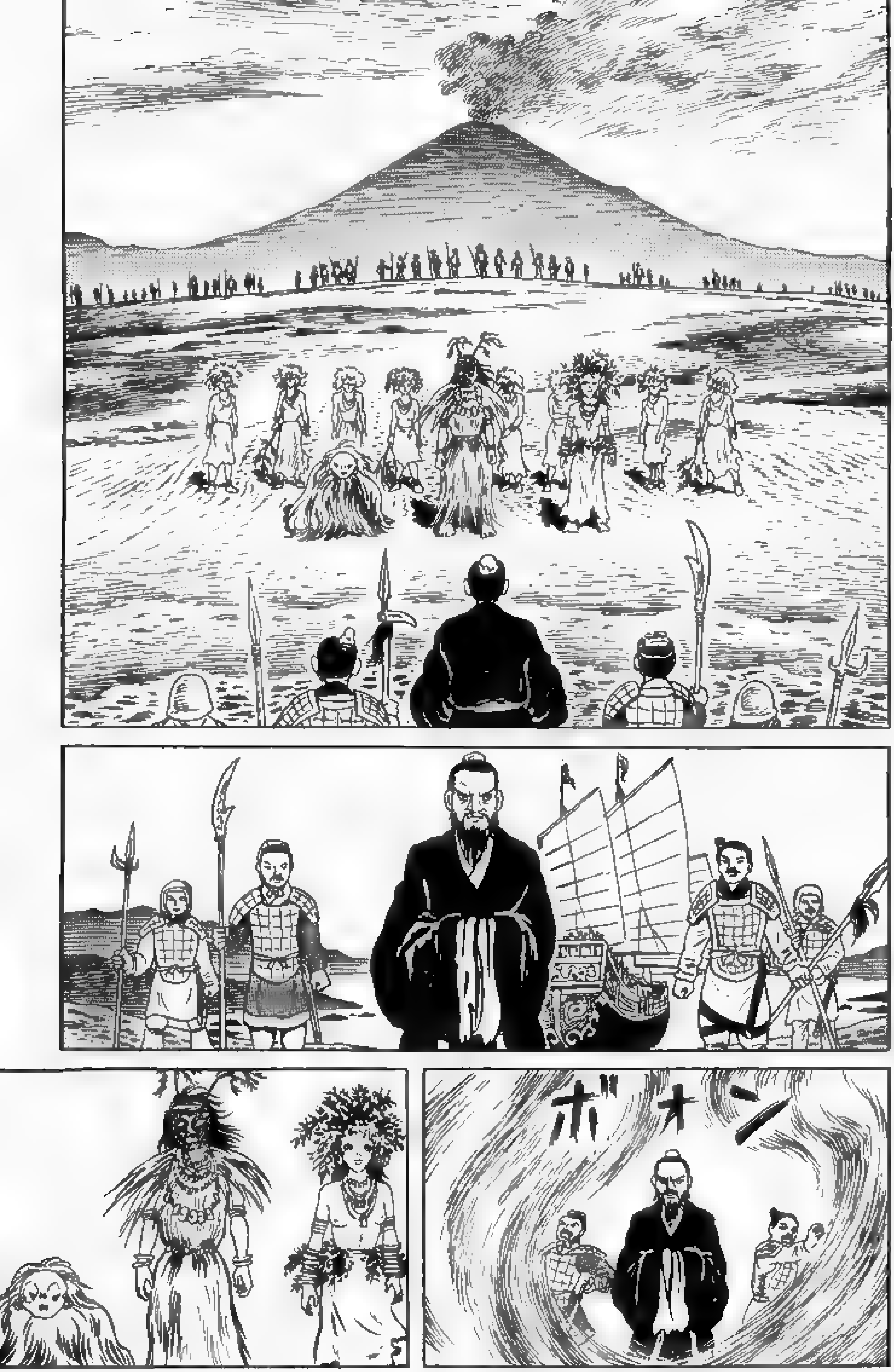

山だ！海のむこうに山がみえる
ほんとうだ大きな山だ
山が煙をふいているよはじめてみた
そうだそれになんて美しい姿の山なんだろう
あれが徐福さまのいっていられた蓬莱山なんだ神仙の山だ……



徐福さまにさからわないで
あのかたはおそろしい人よ
おれたちは　やつの道具だ
くそ…そうだ　おれたちの
ひとりでも欠けたらといったな
……



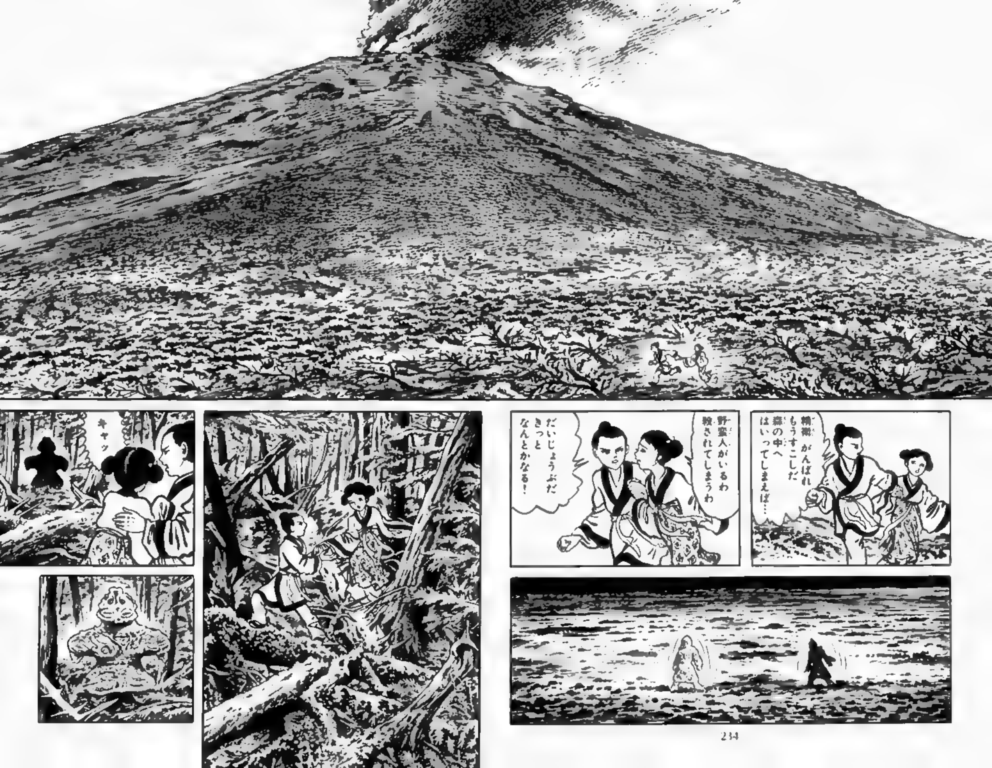
船がくる……イワクスブネよりも諸手舟よりもずっとずっと大きな異国の船が…
フジの山の動きがはげしいのも そのためじゃろうか？
わからぬ…いずれにしろ客をむかえよう


ボオーン


異国の者よ
汝は妖術師か
この国へ
なにをしに
きたのだ
失礼した
わしは秦の国から
まいった徐福という者…
東方の君子国へ
混沌の神を
たずねてまいった
ザワ
ザワ
ザワ
異国の人
もしそれが
神のことなら
カミムスビの
会うことは
できぬ……
カミムスビに会う
ことができるのは
時のはじめから
定められた
力ある者だけじゃ
むろん
わかって
いる!
中国にもむかし その
ような者がいた 道(※)に
よって 力をあたえられ
世界を支配する宿命を
もった者が…
それは道からきた
四十六種の気(因子)に
よって形づくられ
それゆえ 宇宙の根本
たる 道そのものでも
あった

※道：宇宙の原理。


その死後 その気はおおくの子孫のあいだで 純粋さをうしない 中国中にばらまかれてしまった
わしは その因子をひとつずつ受けついでいる者をようやくみつけだしてあつめたのだ
あの船にいる四十六人ずつの男女の子どもたちこそ その道にかなった者に該当するはずなのだ!
四十六の因子とはなんなのか「徐福記」にも記されていない…ただ人間の染色体の数が四十六であるということをだけつけくわえておこう
バシャ
徐福さま子どもがふたりにげました!
なにっ
顔青と精衛です監視の目をぬすんで陸にあがったらしく…
青古!!血尸!!ふたりを追えつかまえてつれもどせ!



精衛 がんばれ もうすこしだ 森の中へ はいってしまえば……
野蛮人がいるわ 殺されてしまうわ
だいじょうぶだ きっと なんとかなる!
キャッ


だいじょうぶ ただの 土人形だ ……
願青… ここは倭人たちの 聖地ではないかしら その人形は はいっては いけないという しるしの ……
ここで すこし やすもう
奥から 風がくる ここなら徐福の 部下にも……



でましょう
こわい……!!
ゴゴゴゴ
バラ
バラ
バラ
ゴゴゴゴゴ
あぶない!
バキ
バキ
バキ
ゴゴゴォゴゴ…

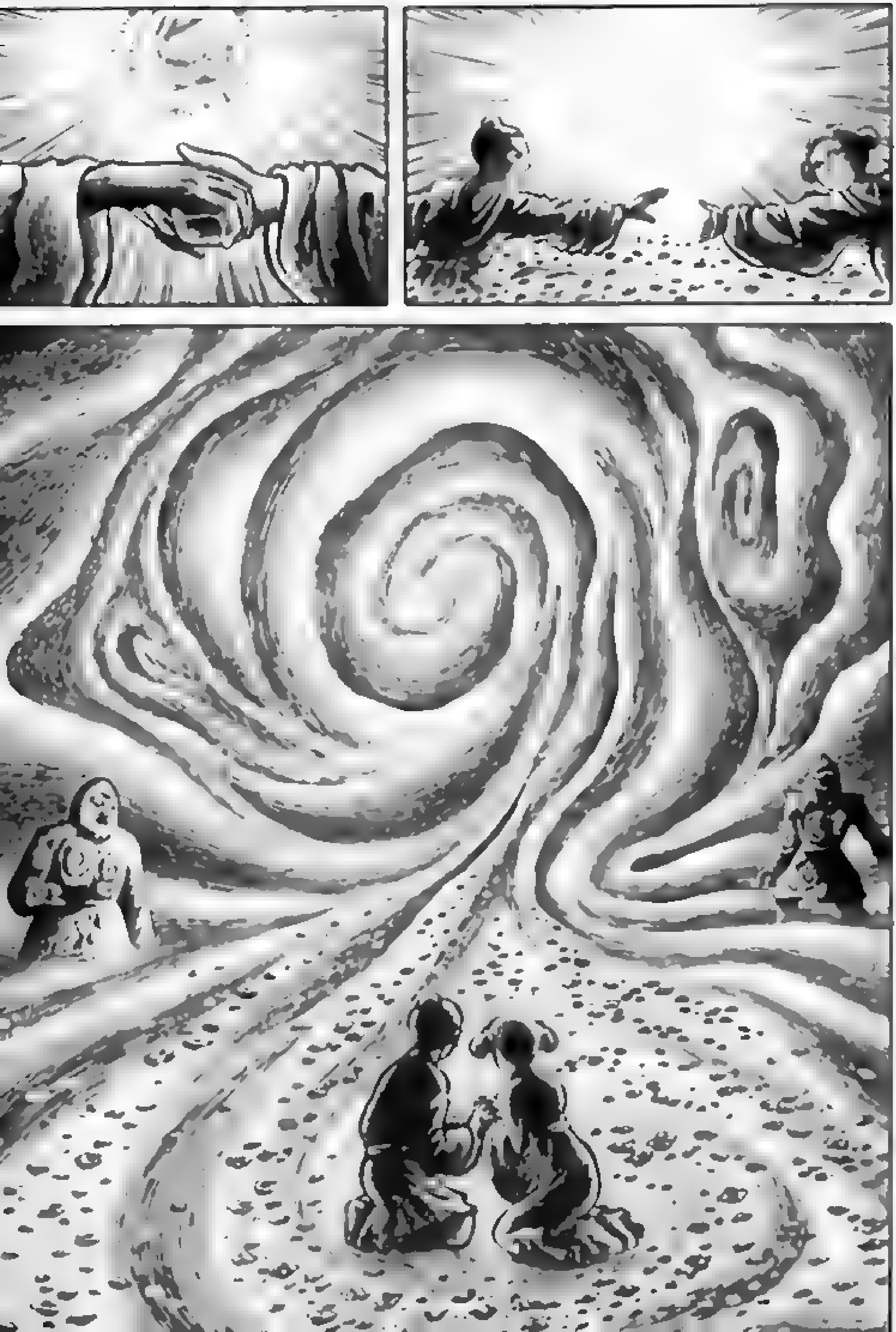

精衛……みろ……
……花だわ……
まあ ふしぎ 白い花が 空中から わきでてるように 森をおおって…


精衛
さわるな
これは
この世の花
じゃない！
でも
きれいだわ
ああ
こんな
花の中に
うずもれて
ずっと
ふたりで…
キャアッ
ザッ

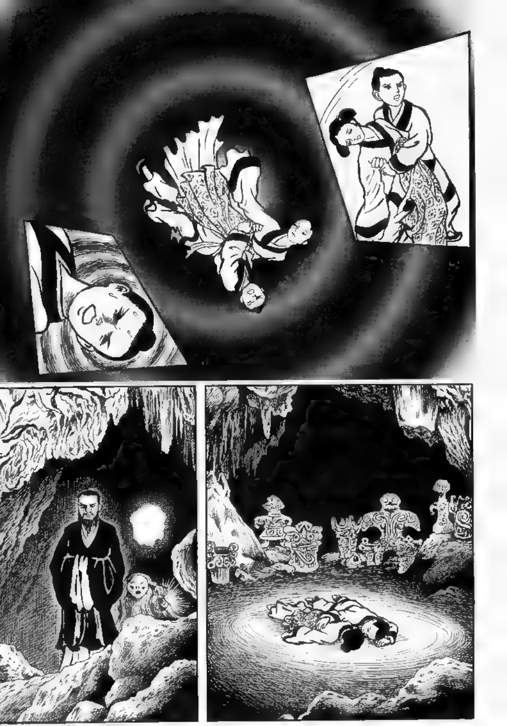

むっ!?
これは…鬯草だ!
これは わしも はじめてだ 時非の花は 百年に一度咲き そのときだけ カミムスビに 会うことが できる…
黄泉(冥土)から やってくる草だ 周の時代 倭人が この草を 天子に献じた という記録を よんだことが ある!


この霧と花は
洞窟の奥から
わきてて
きてるん
だ！
道に
まよってしまうわ！
いくしかない
精衛
はなれるな！


どうしたらいいの
わたしたち
どこにいるの!?
わからない
精衛！




フラ…
精衛どうした！
ピシッ

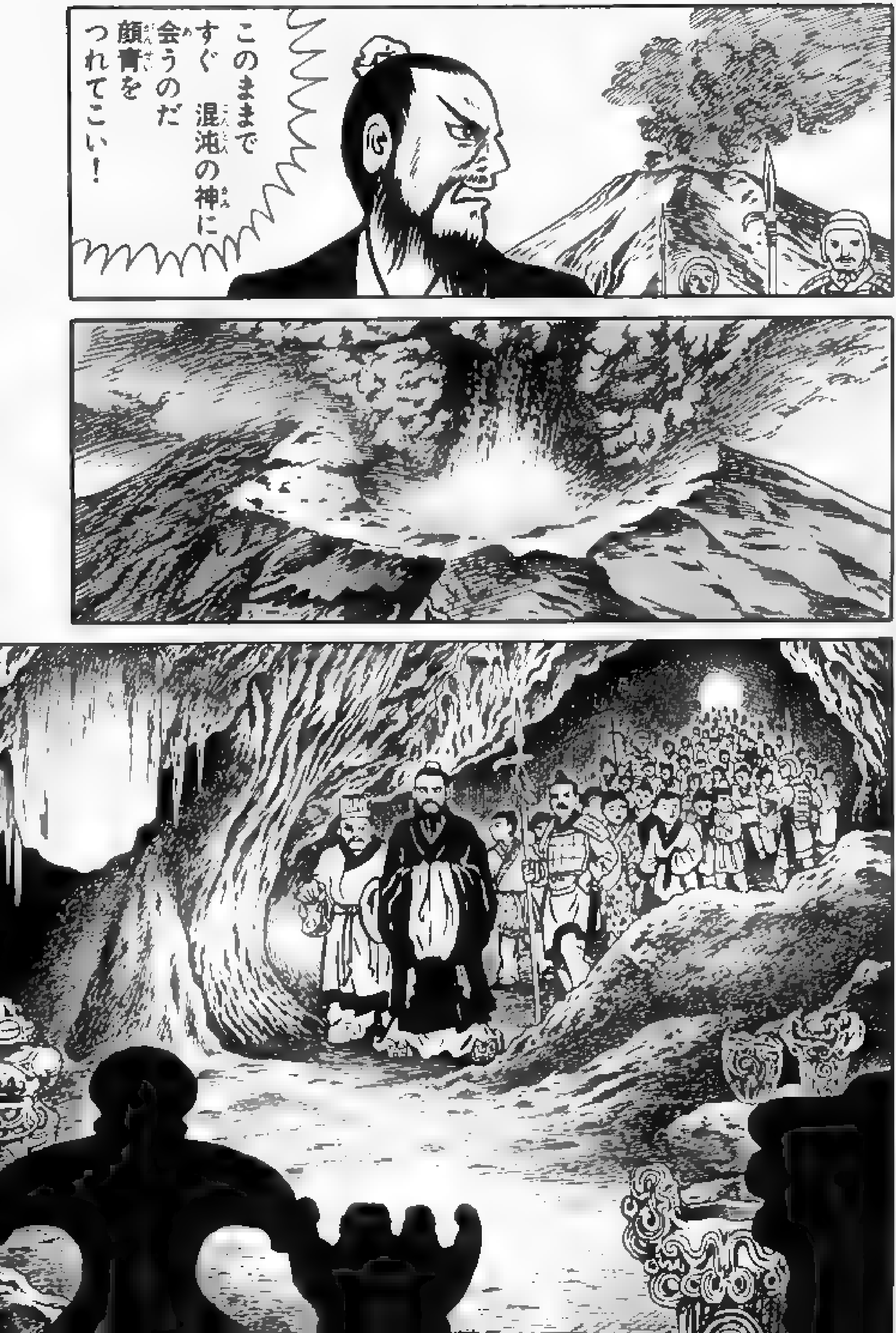



おまえには なんど いってもわからぬ ようだな それとも わしの 復讐のために 計画をつぶそうとして 逃げたのか？ おろかなものだ…
……
……
わしの もとめる 不老不死 とはな… 単に人間の 体を長もち させるだけの まやかしの 術ではない
この大宇宙を統轄する 根源――道と合一し 人間の限界をこえることを 目的とするものだ
太古のむかし 宇宙は 巨大な 混沌とした気のかたまりで あり その中から 渦を巻く ようにして 徐じょに天地が ながれだしてきた…
だからこそ 宇宙の気(星雲)は 渦を巻き 人間の気も渦を 巻いている (人間の遺伝子を 形づくる核酸は 鎖状のらせん構造を している)
宇宙も人間も…… あの青古 血戸を 形づくっていた "竜の精"と いわれる液も… 本質的には すべておなじ 気にもとづくものだ



その巨大な生命エネルギーのほんのひときれといえども人間のなん億人分の生命など問題にもならぬ この偉大なものにふれれば おまえも…
……
おれはそれにふれた！
なに おまえが？ ばかな おまえたちの それぞれの四十六の因子がそろわねば 道にふれても死んでしまう！
おまえたちが生む四十六人の子どもの四十六の因子が道に認められた聖人の代用をするのだ…
そんな代用の聖人はまやかしだ！
おれは たしかにばかだったが おまえもばかだ
それにふれて わかったのだ 宇宙は それ自体で完全で完成している…
それに干渉しようという おまえも じゃましようとした おれも 同様におろか者だ 人間のすることなど しょせん……
儒学者のせがれにしては 老荘のようなことを…！ いずれ わしが正しかったと わからせてやろう！
精衛 ゆるしてくれ きみを利用して…
あるがままに… 自然に… いちばん 道にふさわしいのは きみだ
もし できれば こんどこそ ほんとうに ふたりで……


顔青 あなたは やっぱり 精衛を…
宛若！
もう一度 逃げなさい 海岸に舟が あるから…
精衛もあとから… さあ はやく！
宛若…… ありがとう！
みな きけ！ わしらは 目的地に着いたが 少しょう時期を あやまったようだ
百年に一度 蓬莱山に 鬯草が咲くときが すでにはじまっている おまえたちが 四十六人の 子をつくるまで まってはおれぬ！

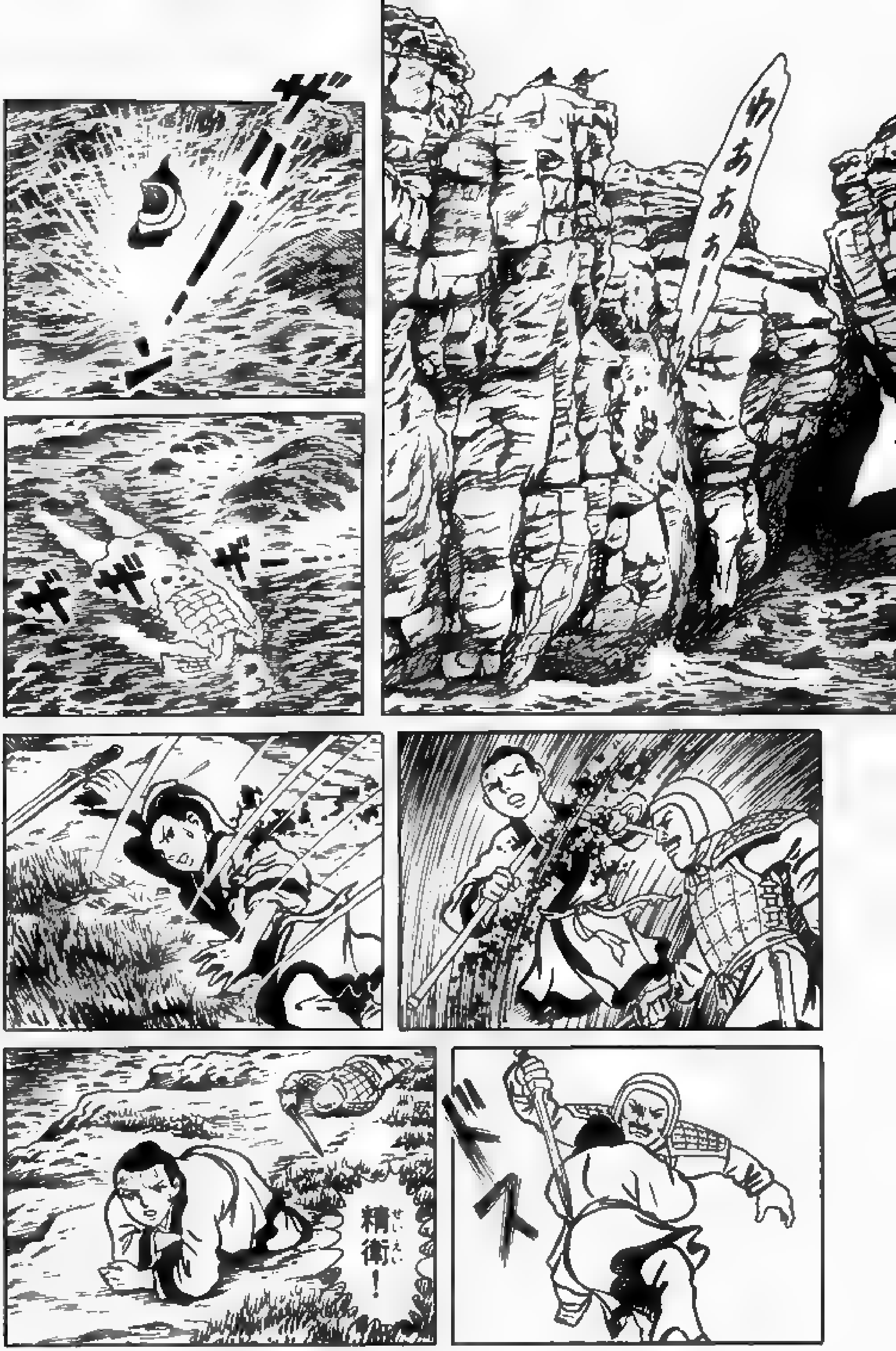

このままで
すぐ　混沌の神に
会うのだ
顔青を
つれてこい！


徐福さま 顔青が 逃げました!
なにっ!?
ばかな! ひとりで 逃げる わけが ない!
精衛…… おいっ
精衛じゃない うぬ…宛若 きさま……!
精衛も いっしょだ くそっ!
ううぬ ここにいたって まだ……
ゴゴゴゴゴゴ


グワーー
おっ!?


ドドドドドドド
精衛 さきに いけ！


ゴオオオーー
因子がたりん 二組もたりん！
みんなさわぐな もうすぐ あの 三人がもどれば すぐ‥‥
鹿生 どこへ いく！


わあああー!
ザーン
ザザザー
精衛(せいえい)!
ドス


ハァハァ
おっ!?




あっ！
ガラッ
ズズ
精衛！
ザザァ



混沌よ
わしには
ひらかぬのか！
永遠への扉を
ひらかぬのか!?
精衛！
精衛！
精衛！


ドドドーン
精衛ーっ!


むかし 海で
おぼれた少女が
精衛という鳥に
なったという
ドドドドドドド
少女は鳥に
なってからも
自分が海で
おぼれたことを
恨み……
精衛……



小枝や小石をくわえてきては海に投じ 海をうめつくそうとするのだという
ドオオオ



徐福伝説▶完◀



▶初出一覧◀

「暗黒神話」

週刊少年ジャンプ20号～25号（1976年）

「徐福伝説」

月刊少年ジャンプ増刊１月号（1979年）

▶参考文献◀

久米博 訳「エリアーデ著作集第１巻　太陽と天空神」（せりか書房）
ウルセル／モラン共著：美田稔 訳「インドの神話」（みすず書房）
森浩一 編「日本古代文化の探究・馬」（社会思想社）
梅田義彦「卑弥呼　邪馬台国の新研究」（東宣出版）
中野幡能「古代国東文化の謎」（新人物往来社）
安藤輝国「邪馬台国と豊王国」（浪速社）
神西秀憲「伝説で解く邪馬台国」（新人物往来社）
佐和隆研「仏像案内」（吉川弘文館）
金指正三「星占い　星祭り」（青蛙房）
野本寛一「石の民俗」（雄山閣）
谷川健一「古代史ノオト」（大和書房）
肥後和男「日本の神話」（雪華社）
渡辺照宏「仏教」（岩波書店）
富来隆「卑弥呼」（学生社）



あとがき

「暗黒神話」は十二年も前に描いた作品で、構想から完成まで丸々一年半かけたにもかかわらず、雑誌に掲載された時にはわずか六週で終わってしまったので、ひどくがっかりしたというか、拍子抜けしたように感じたことをおぼえています。

一九七七年の新書判では、ページの限定などもあって、左右ページが逆になったり、いろいろ不満足な本であったので、今度やっとA５判のより完全な形で出せるのはうれしい限りです。新書判の時には、「これは二重像の絵を中に秘めた壮大なジグソー・パズルだ」というような事を書きました。

西日本各地を主人公らが駆けめぐる話ですが、取材などはあまりしていず、写真等を参考にしてイメージをふくらませたり、想像で描いてしまったりしているのです。そのため――さすがに装飾古墳に関しては、特に竹原古墳などは今回多少手を入れて描き直した部分もありますが――不正確な絵や地形の間違い、科学的なナンセンスさもあるかもしれません。けれども、漫画の醍醐味は壮大なウソであると思っているぼくとしては、この作品に関してはそれはそれでいいと思っているのです。

諸星大二郎

JUMP SUPER ACE

暗黒神話

1988年6月15日　第1刷発行
1997年5月15日　第10刷発行

著　者：諸星大二郎

発行人：徳永孝雄
発行所：株式会社 創美社
〒101　東京都千代田区神田神保町3－9
Tel　03(3288)9821㈹　　第一丸三ビル
発売元：株式会社 集英社
〒101-50　東京都千代田区一ツ橋2－5－10
Tel　販売 03(3230)6393／制作 03(3230)5064
印刷所：中央精版印刷株式会社／株式会社 美松堂

乱丁・落丁が万一ございましたら、創美社宛にお送りください。
送料小社負担でお取り替えいたします。

ISBN4-420-13703-7 C9979　　Printed in Japan



暗黒神話



諸星大二郎

集英社

9784420137034
1929979007775
ISBN4-420-13703-7
C9979 ¥777E
発行創美社　発売集英社
定価816円
本体777円
雑誌 43816−79



ジャンプ スーパー エース

COVER DESIGN：川島健三(水野プロ)

暗黒神話

諸星大二郎



JUMP SUPER ACE

暗黒神話

諸星大二郎

JSA703

集英社

暗黒神話



JUMP SUPER ACE

創美社発行・集英社発売



Catalogue

EXCNN NEWS

Hi Everybody. Thanks you for visit website http://exonn.com ! From now you can : Report Link die, Request Manga... please comment this topic. have fun

Ruyshare.com is comeback!!

MITSUDOMOE



Associated Names

Description

From Mangafication.

The somewhat precocious and sadistic girl Mitsuba, the somewhat lecherous muscle girl Futaba, and the somewhat mysterious girl Hitoha. Better known as the (mischievous) "Maru Sisters", this is the story of how these three triplets go about their days in Class 6-3 with their cute yet wild antics.

Genre

Comedy Ecchi Shounen Slice of Life

Who Online